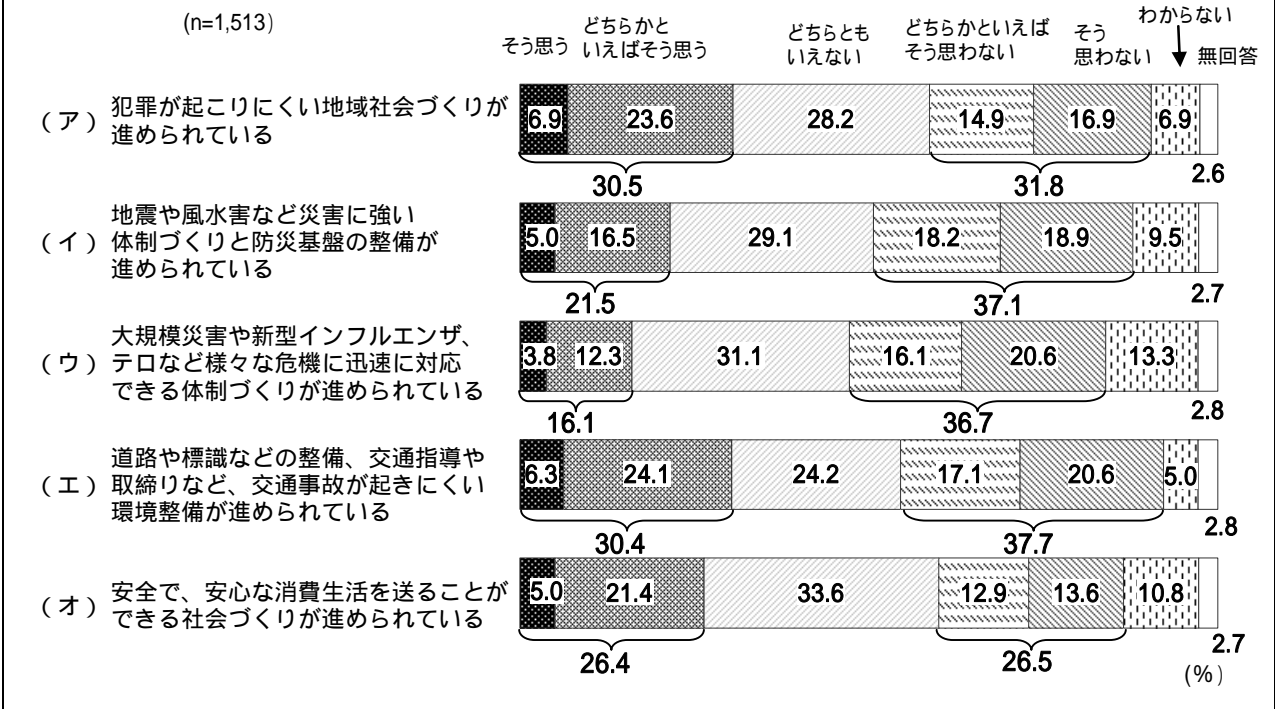


1.【県政全般に関する意識調査】

(1) 暮らしの安全・安心に関する意識

問1 あなたは、暮らしの安全・安心に関する次の項目についてどう思いますか。
(はそれぞれ1つずつ)

<図表1-1> 暮らしの安全・安心に関する意識



暮らしの安全・安心に関する5つの項目について、それぞれの意識を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は、<(ア) 犯罪が起これにくい地域社会づくりが進められている>(30.5%)が3割となっている一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』では、<(エ) 道路や標識などの整備、交通指導や取締りなど、交通事故が起きにくい環境整備が進められている>(37.7%)、<(イ) 地震や風水害など災害に強い体制づくりと防災基盤の整備が進められている>(37.1%)が約4割となっている。

(図表1-1)

【地域別】

地域別にみると、<(ア) 犯罪が起これにくい地域社会づくりが進められている>で『そう思う』が、“香取地域”(45.4%)で4割台半ばとなっている。<(イ) 地震や風水害など災害に強い体制づくりと防災基盤の整備が進められている>では、『そう思わない』が“山武地域”(45.1%)、“葛南地域”(42.8%)で4割以上となっている。

<(エ) 道路や標識などの整備、交通指導や取締りなど、交通事故が起きにくい環境整備が進められている>では、『そう思う』が“安房地域”(57.2%)で約6割となっている一方、“山武地域”(54.9%)では『そう思わない』が5割台半ばとなっている。(図表1-2)

【性・年代別】

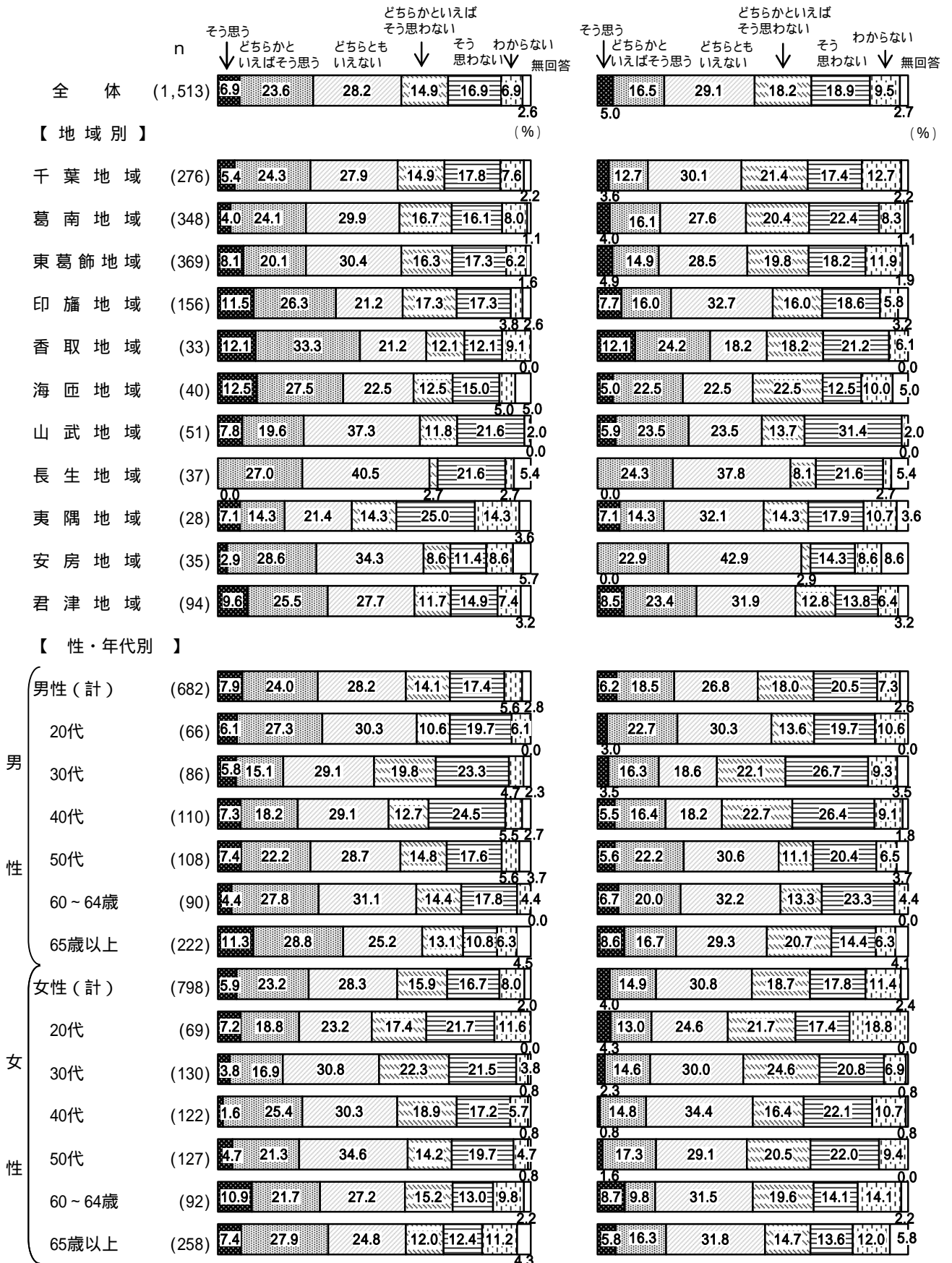
性・年代別にみると、＜（ウ）大規模災害や新型インフルエンザ、テロなど様々な危機に迅速に対応できる体制づくりが進められている＞は、『そう思わない』が女性30代（50.0%）で5割、男性30代（46.6%）と40代（46.4%）、女性50代（45.6%）で4割台半ばとなっている。

＜（オ）安全で、安心な消費生活を送ることが出来る社会づくりが進められている＞では、『そう思う』が男性20代（39.4%）で約4割となっている一方、『そう思わない』は、男性40代（37.3%）で約4割となっている。（図表1 - 2）

<図表1 - 2> 暮らしの安全・安心に関する意識 / 地域別、性・年代別

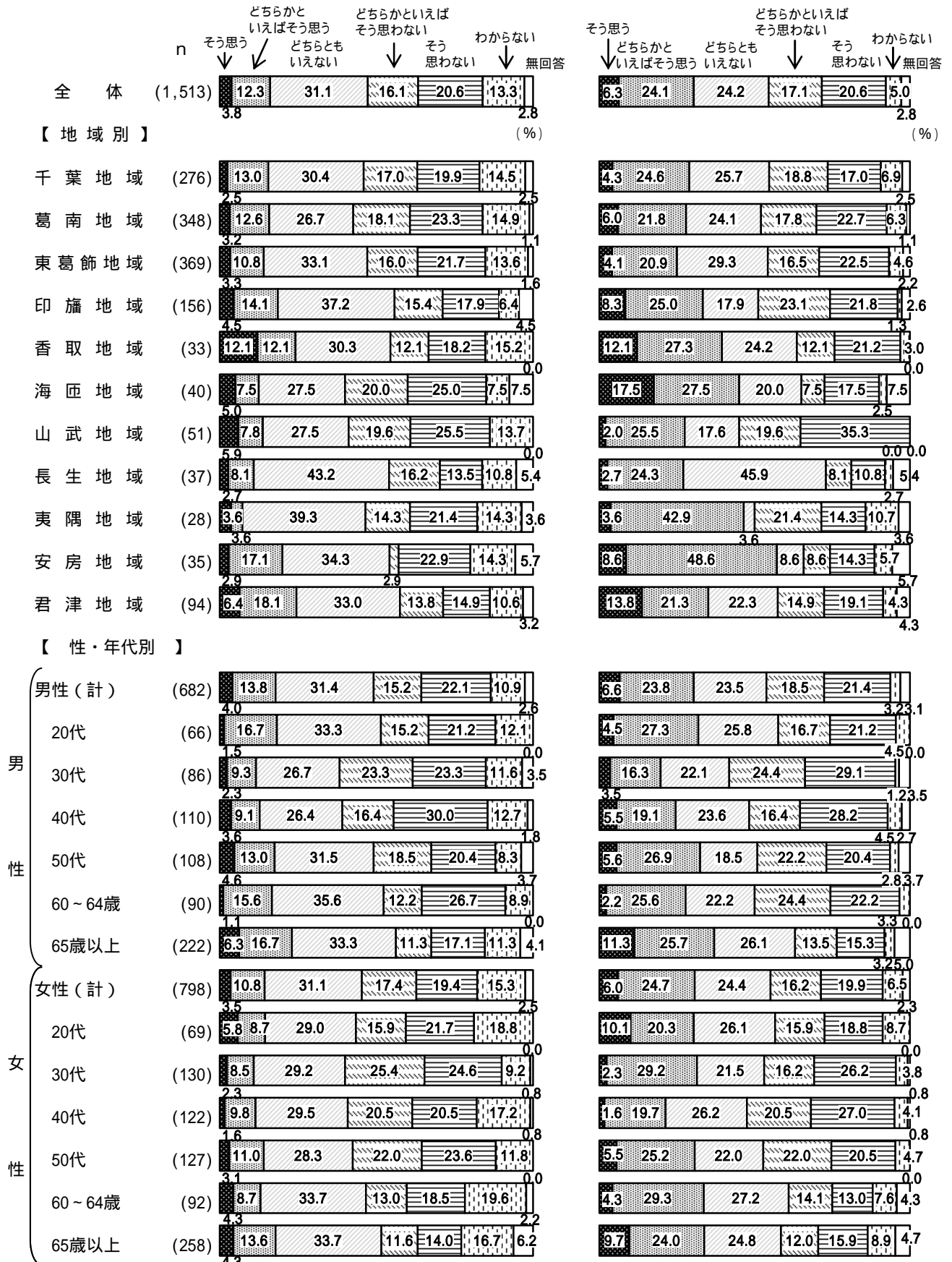
(ア) 犯罪が起りにくい地域社会のづくりが進められている

(イ) 地震や風水害など災害に強い体制のづくりと防災基盤の整備が進められている



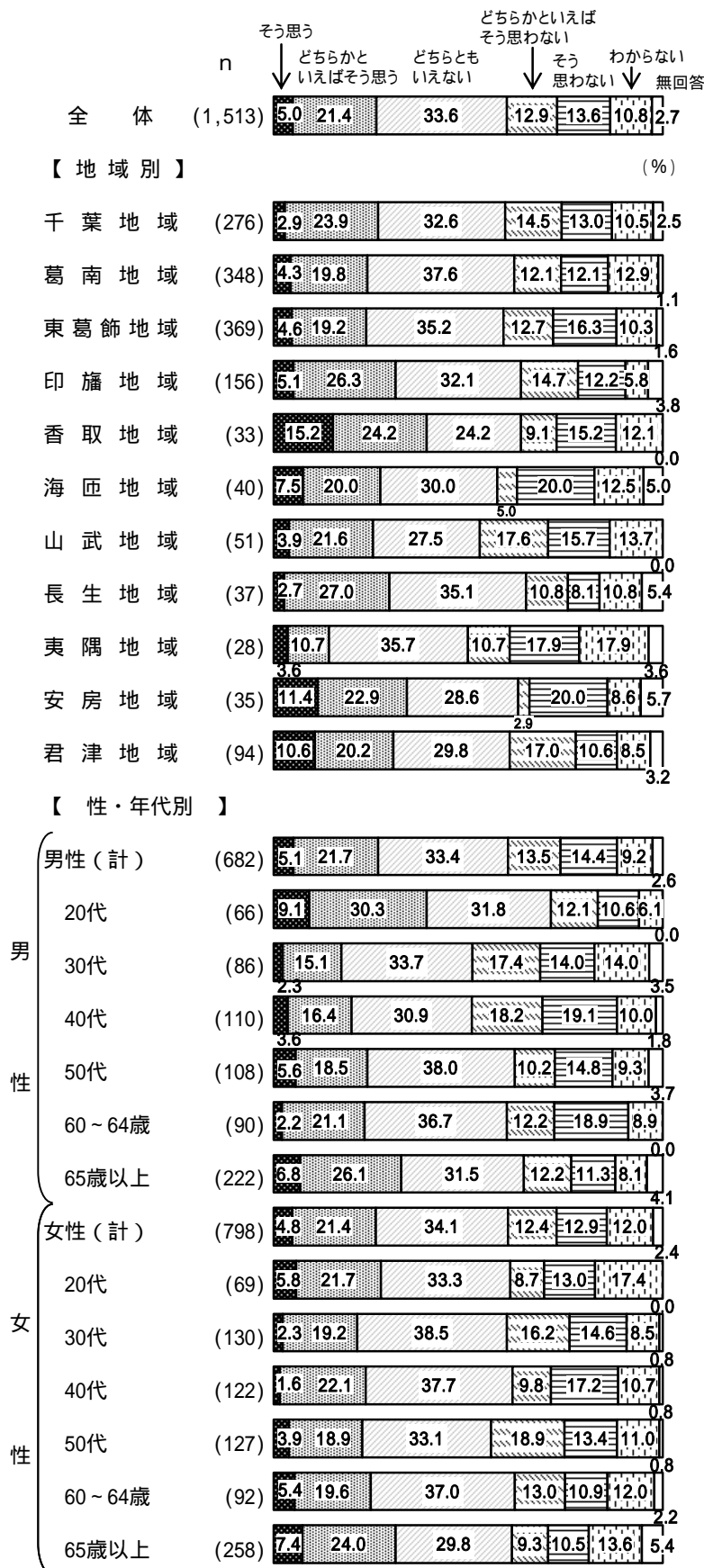
<図表1-2> 暮らしの安全・安心に関する意識 / 地域別、性・年代別

(ウ) 様々な危機に迅速に対応できる 体制づくりが進められている
 (エ) 交通事故が起きにくい環境整備が進められている



<図表1 - 2> 暮らしの安全・安心に関する意識 / 地域別、性・年代別

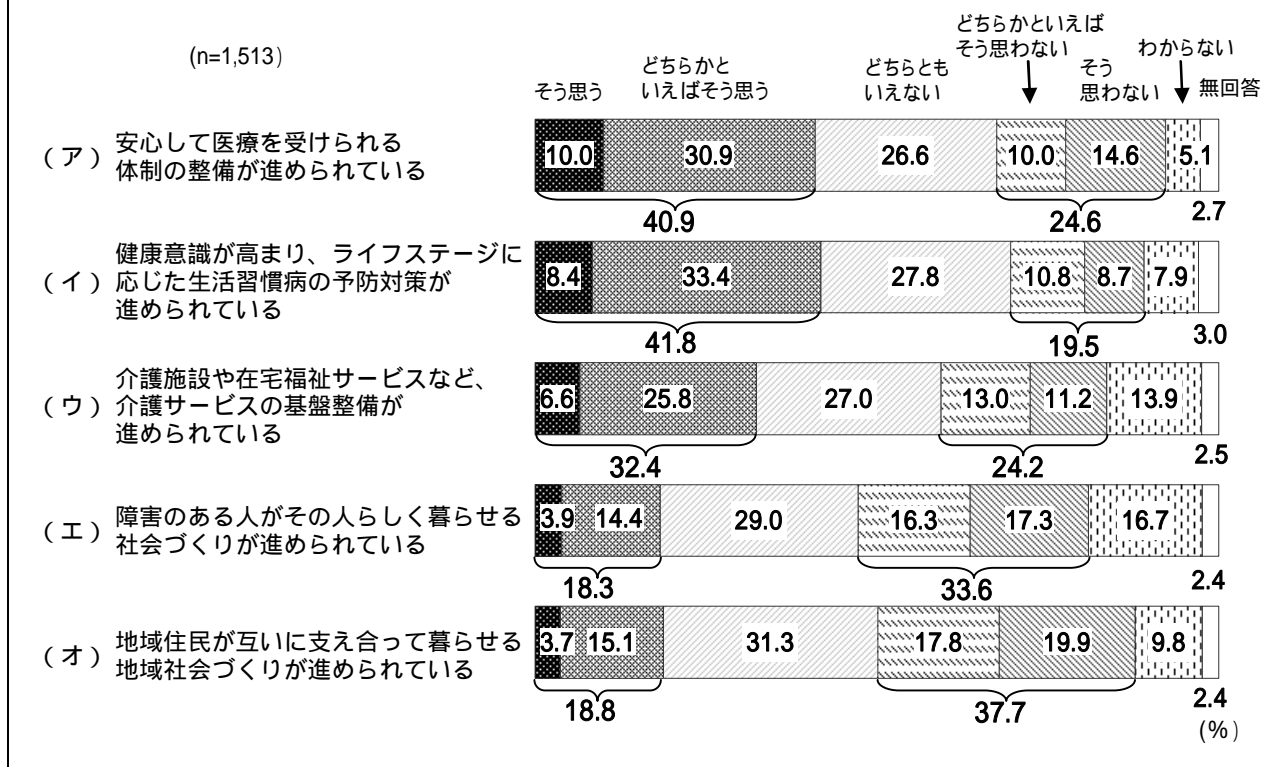
(オ) 安全で安心な消費生活を送ることが出来る社会づくり



(2) 医療・福祉・健康づくりに関する意識

問2 あなたは、医療・福祉・健康づくりに関する次の項目についてどう思いますか。
(はそれぞれ1つずつ)

<図表2-1> 医療・福祉・健康づくりに関する意識



医療・福祉・健康づくりに関する5つの項目について、それぞれの意識を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は、<(イ)健康意識が高まり、ライフステージに応じた生活習慣病の予防対策が進められている>(41.8%)<(ア)安心して医療を受けられる体制の整備が進められている>(40.9%)で4割以上となっている。一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』では、<(オ)地域住民が互いに支え合って暮らせる地域社会づくりが進められている>(37.7%)が約4割となっている。

(図表2-1)

【地域別】

地域別にみると、<(ア)安心して医療を受けられる体制の整備が進められている>では『そう思う』が“安房地域”(62.9%)で6割を超え、他の地域に比べ多くなっている。<(ウ)介護施設や在宅福祉サービスなど、介護サービスの基盤整備が進められている>は、『そう思う』が“安房地域”(51.4%)で5割を超えて多くなっている。<(エ)障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりが進められている>では『そう思わない』が“山武地域”(45.1%)で4割台半ばとなっている。

(図表2-2)

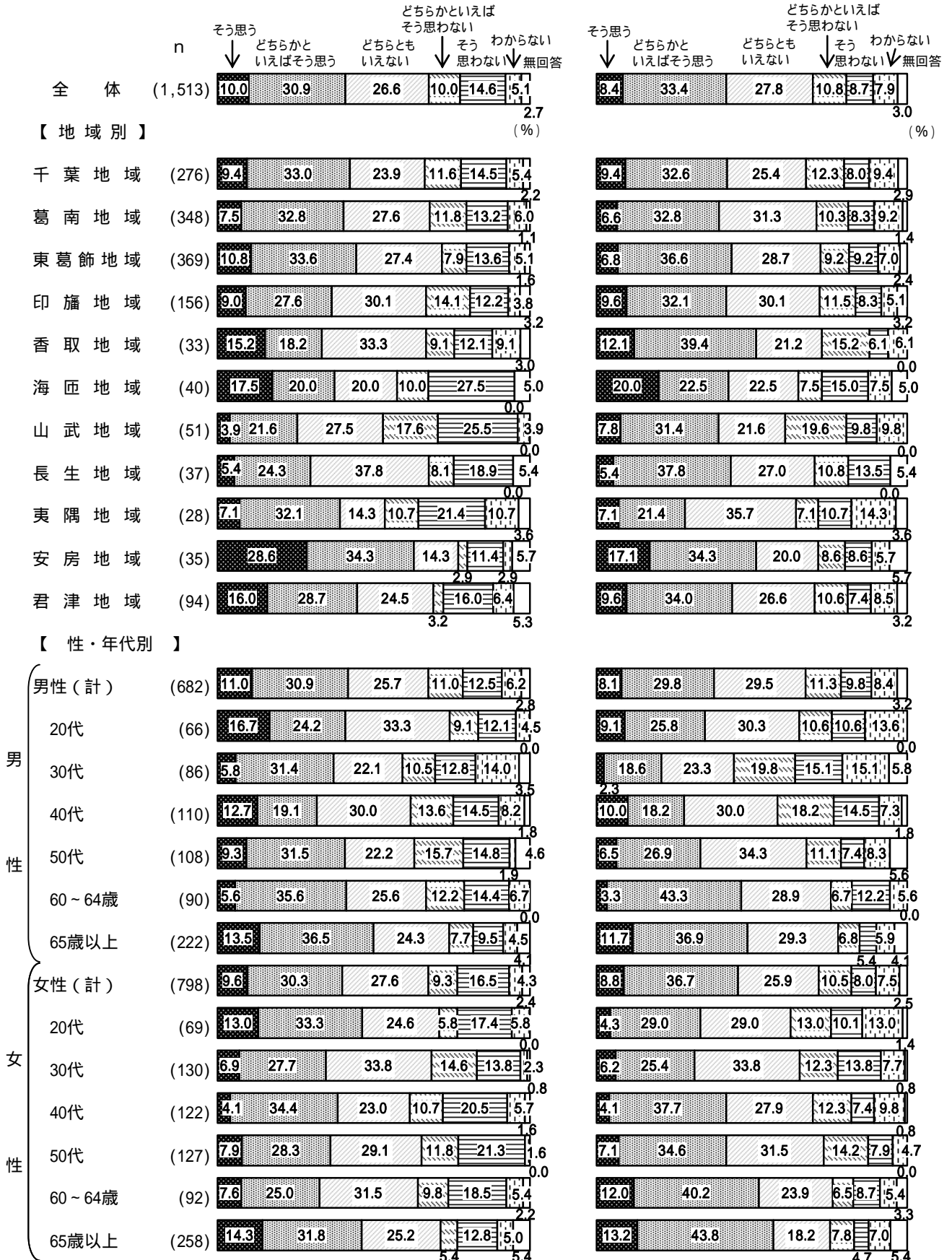
【性・年代別】

性・年代別にみると、＜（イ）健康意識が高まり、ライフステージに応じた生活習慣病の予防対策が進められている＞では、『そう思う』が女性65歳以上（57.0%）で約6割となっている。＜（エ）障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりが進められている＞では、『そう思わない』が男性50代（44.4%）で4割台半ばとなっている。＜（オ）地域住民が互いを支え合って暮らせる地域社会づくりが進められている＞では、『そう思わない』が男女30代（男性48.8%、女性45.4%）で4割台後半と他の年代に比べ多くなっている。（図表2 - 2）

<図表 2 - 2> 医療・福祉・健康づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

(ア) 安心して医療を受けられる体制の整備が進められている

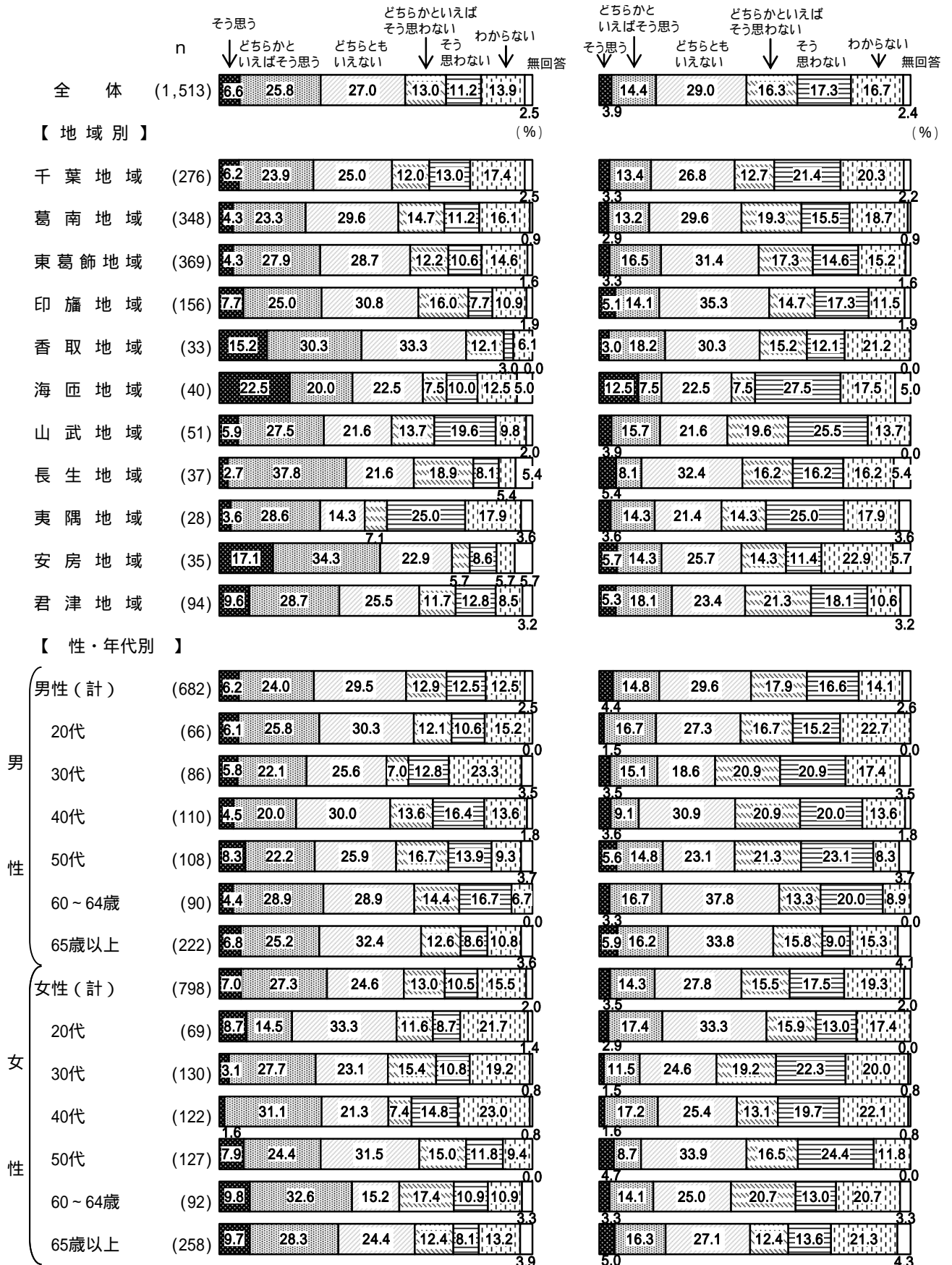
(イ) 健康意識が高まり、ライフステージに応じた生活習慣病の予防対策が進められている



<図表2-2> 医療・福祉・健康づくりに関する意識/地域別、性・年代別

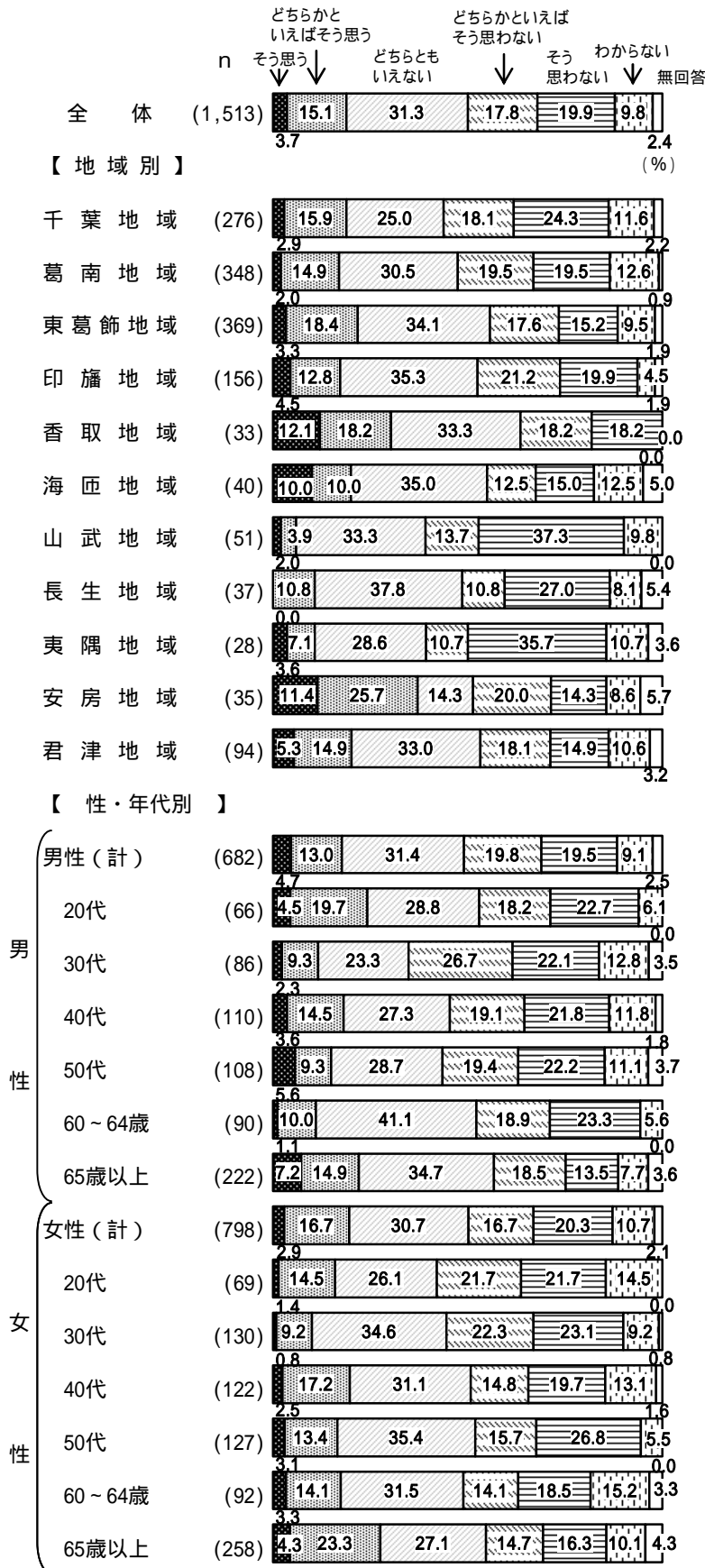
(ウ) 介護サービスの基盤整備が進められている

(エ) 障害のある人がその人らしく暮らせる環境の整備が進められている



<図表2 - 2> 医療・福祉・健康づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

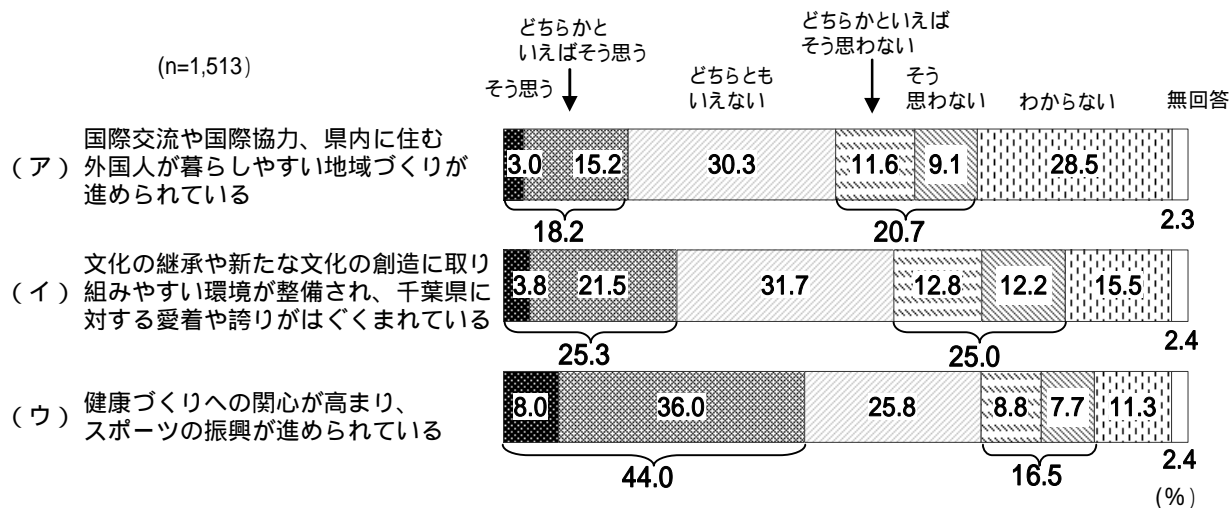
(オ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる
地域社会づくりが進められている



(3) 国際交流、文化・スポーツ振興に関する意識

問3 あなたは、国際交流、文化・スポーツ振興に関する次の項目についてどう思いますか。
(はそれぞれ1つずつ)

<図表3-1> 国際交流、文化・スポーツ振興に関する意識



国際交流、文化・スポーツ振興に関する意識の3つの項目について、それぞれの意識を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は、<(ウ)健康づくりへの関心が高まり、スポーツの振興が進められている>(44.0%)で4割台半ばとなっている。

(図表3-1)

【地域別】

地域別にみると、<(イ)文化の継承や新たな文化の創造に取り組みやすい環境が整備され、千葉県に対する愛着や誇りがはぐくまれている>では、『そう思う』が“香取地域”(42.5%)で4割を超えている。<(ウ)健康づくりへの関心が高まり、スポーツの振興が進められている>では、『そう思う』が“海匠地域”(57.5%)で約6割となっており、次いで“香取地域”(51.6%)、“君津地域”(50.0%)が5割以上となっている。(図表3-2)

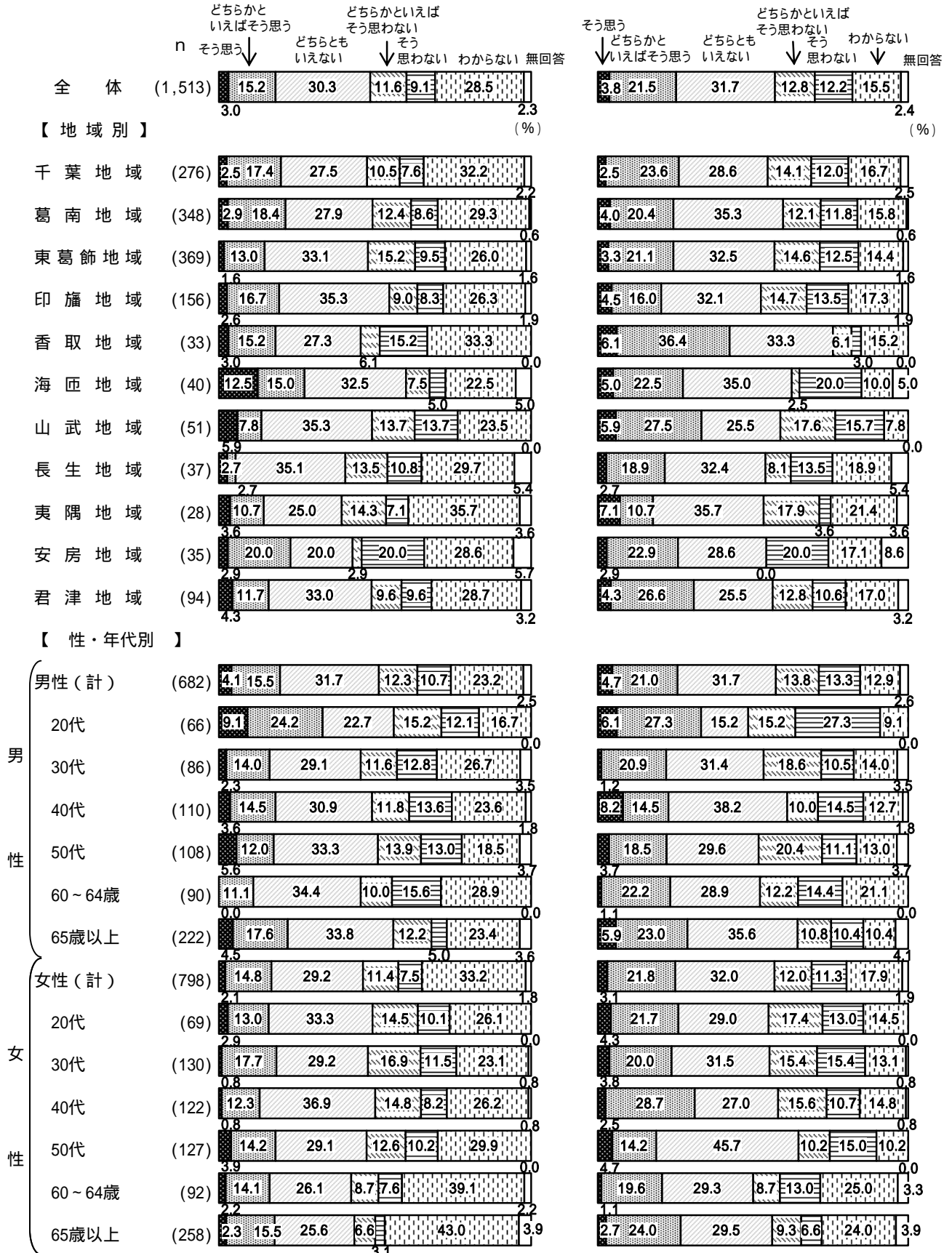
【性・年代別】

性・年代別にみると、<(ア)国際交流や国際協力、県内に住む外国人が暮らしやすい地域づくりが進められている>は『そう思う』が男性20代(33.3%)で3割台半ばと多くなっている。(図表3-2)

<図表3-2> 国際交流、文化・スポーツ振興に関する意識/地域別、性・年代別

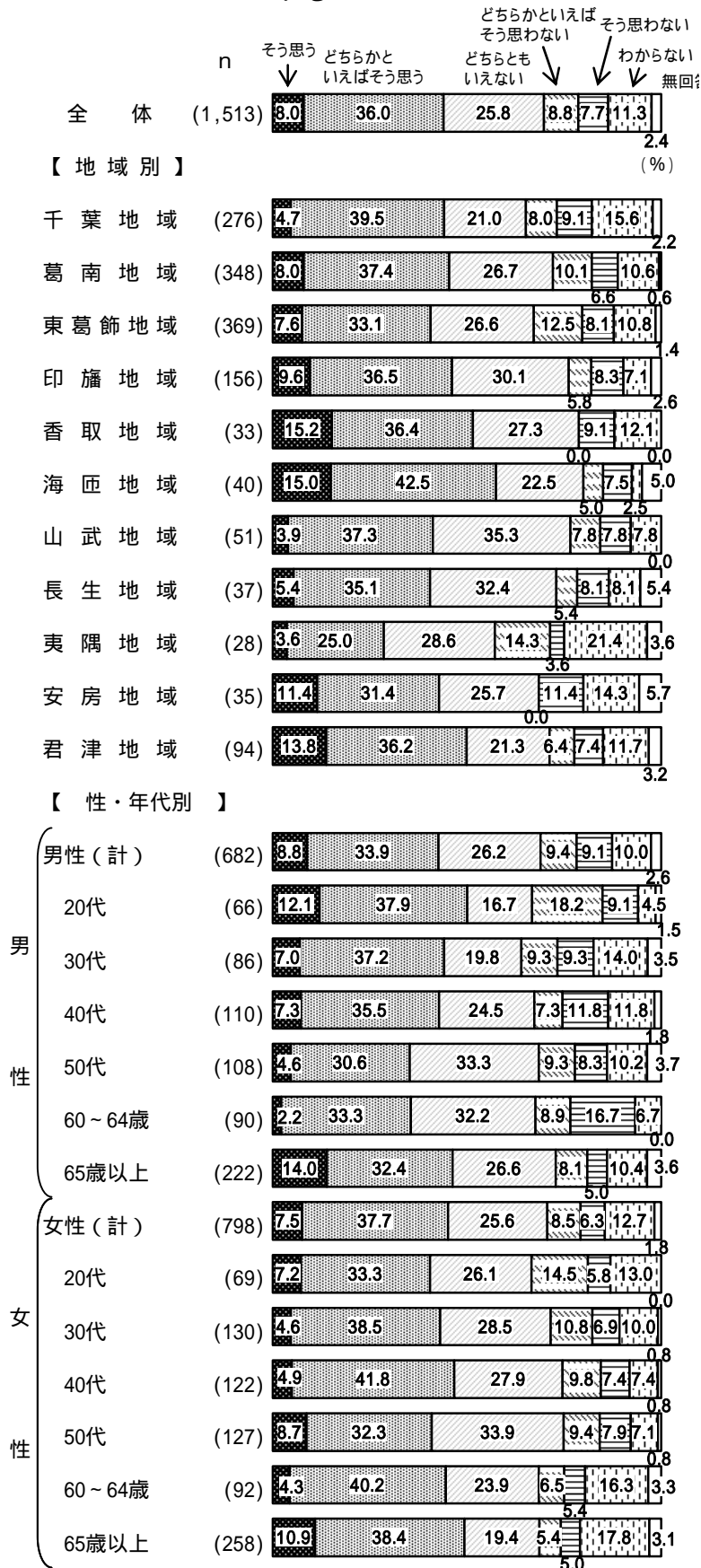
(ア) 国際交流・国際協力、外国人
も暮らしやすい地域づくりが
進められている

(イ) 文化の継承、新たな文化の創造に
取り組みやすい環境の整備



<図表3 - 2> 国際交流、文化・スポーツ振興に関する意識 / 地域別、性・年代別

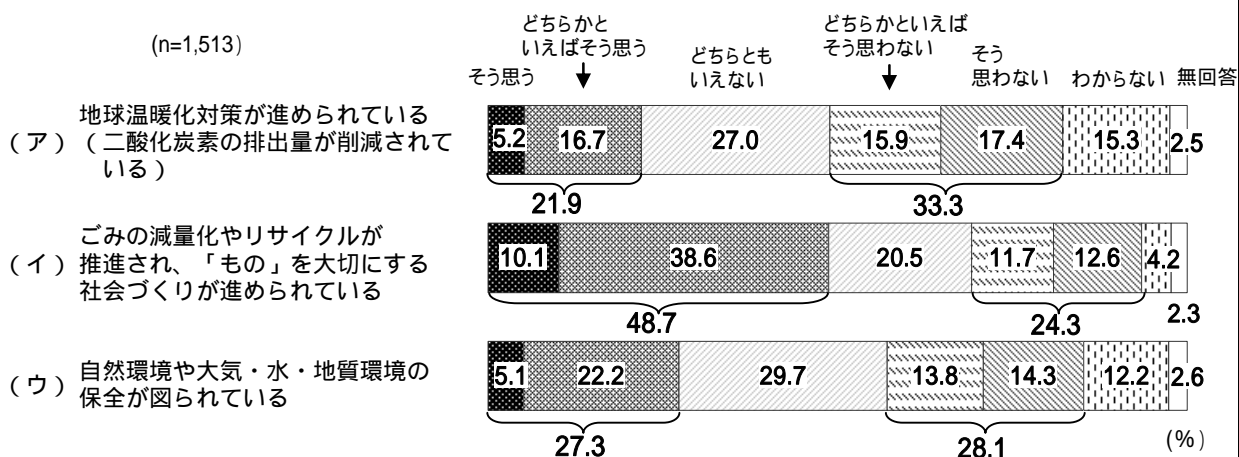
(ウ) 健康づくりへの関心が高まり、
スポーツの振興が進められて
いる



(4) 環境問題に関する意識

問4 あなたは、環境問題に関する次の項目についてどう思いますか。(はそれぞれ1つずつ)

<図表4-1> 環境問題に関する意識



環境問題に関する意識の3つの項目について、それぞれの意識を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』は、<(イ)ごみの減量化やリサイクルが推進され、「もの」を大切に
する社会づくりが進められている>(48.7%)で約5割となっている。一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』では、<(ア)地球温暖化対策が進められている>(33.3%)で3割台半ばとなっている。(図表4-1)

【地域別】

地域別にみると、<(ア)地球温暖化対策が進められている>では、『そう思わない』が“山武地域”(51.0%)で5割を超え、他の地域に比べ多くなっている。<(イ)ごみの減量化やリサイクルが推進され、「もの」を大切に
する社会づくりが進められている>では、『そう思う』が“東葛飾地域”(52.5%)、“千葉地域”(51.8%)、“君津地域”(51.1%)の3つの地域で5割を超えている。

(図表4-2)

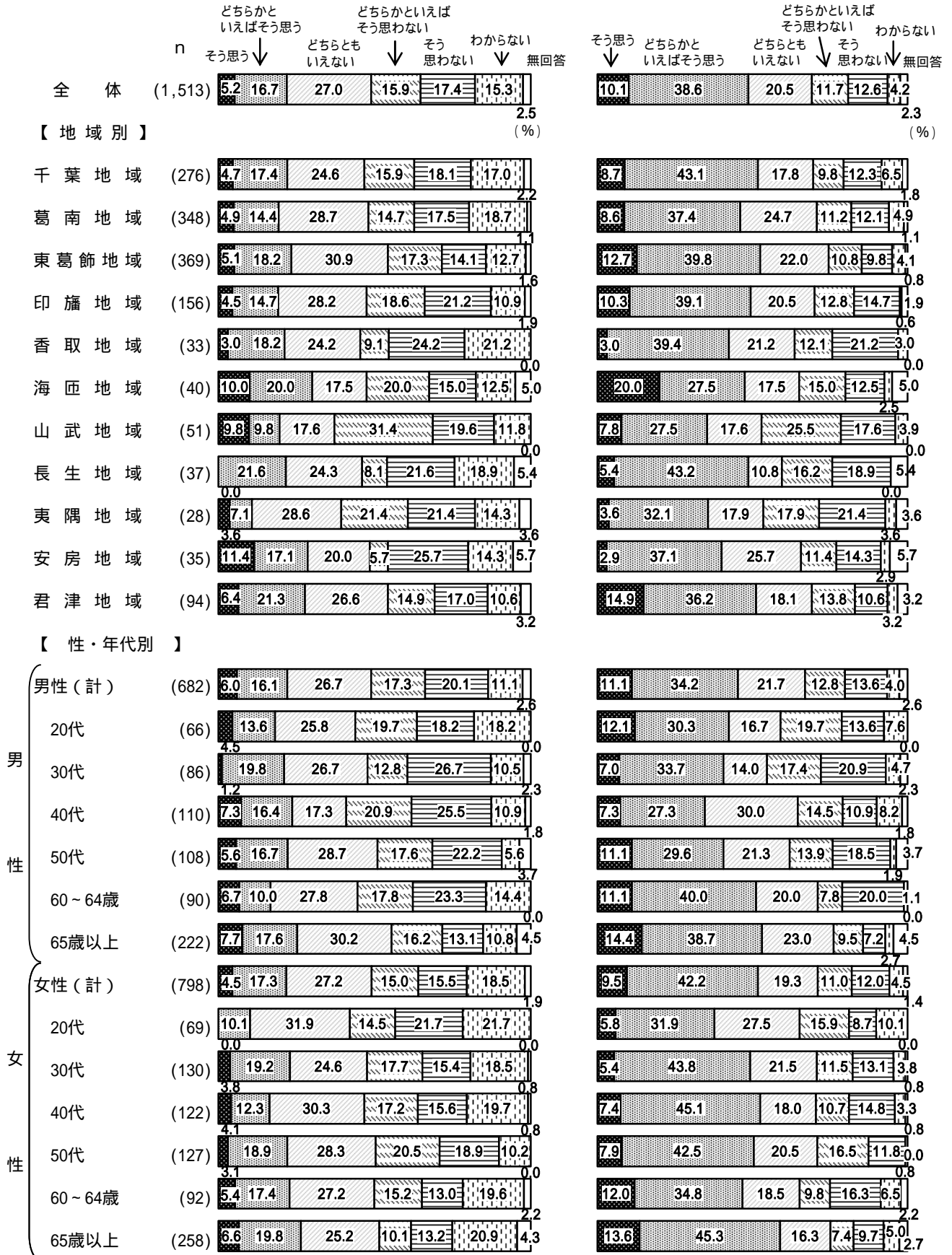
【性・年代別】

性・年代別にみると、<(イ)ごみの減量化やリサイクルが推進され、「もの」を大切に
する社会づくりが進められている>は、『そう思う』が女性65歳以上(58.9%)で約6割、男性65歳以上(53.1%)で5割台半ばと多くなっている。<(ウ)自然環境や大気・水・地質環境の保全が図られている>では、『そう思わない』が女性50代(38.6%)で約4割、一方『そう思う』は男性65歳以上(37.0%)で約4割と他の年代に比べ多くなっている。(図表4-2)

<図表4-2> 環境問題に関する意識/地域別、性・年代別

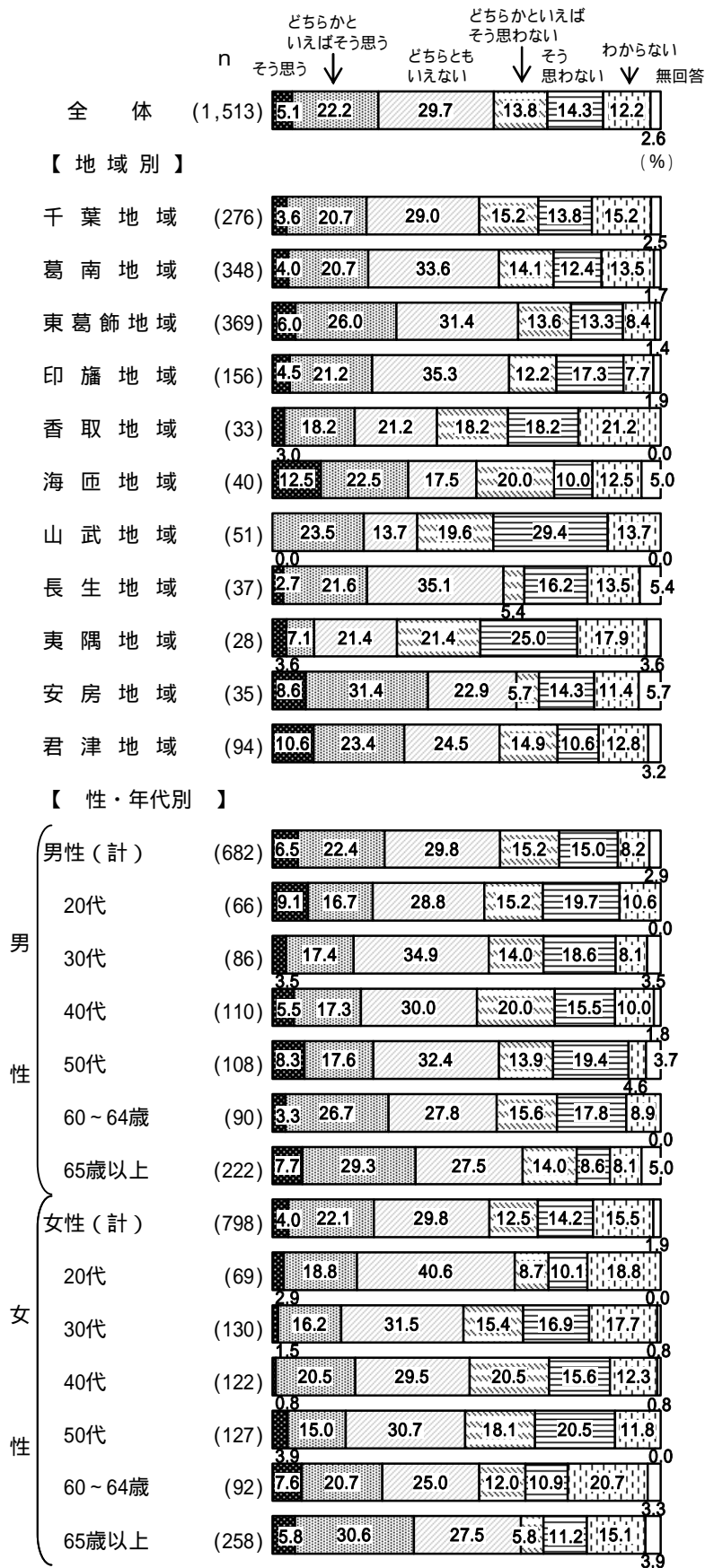
(ア) 地球温暖化対策が進められている

(イ) ごみの減量、リサイクル、ものを大切に作る社会づくりが進められている



< 図表 4 - 2 > 環境問題に関する意識 / 地域別、性・年代別

(ウ) 自然環境や大気・水・地質環境
の保全が図られている

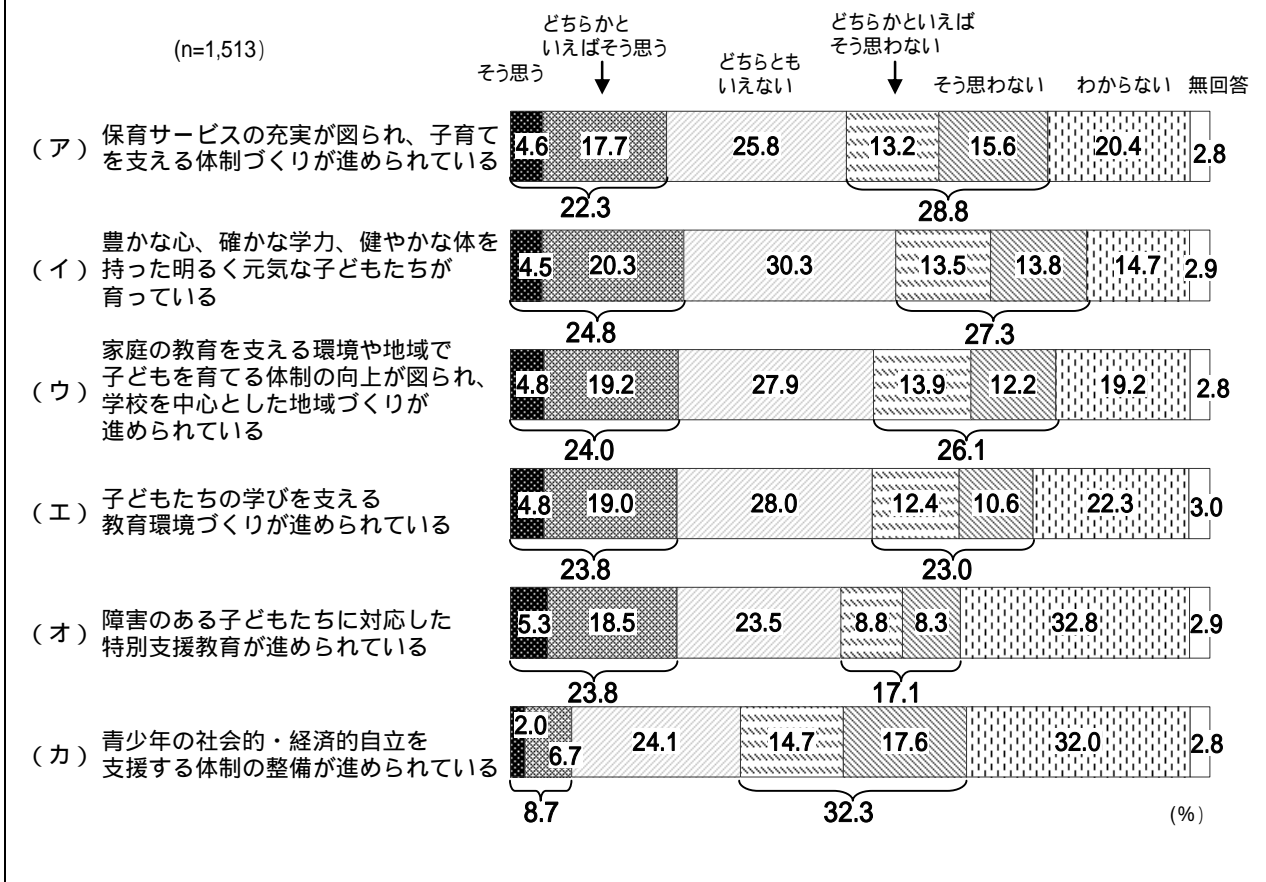


(5) 子育てや教育に関する意識

問5 あなたは、子育てや教育に関する次の項目についてどう思いますか。

(はそれぞれ1つずつ)

< 図表5 - 1 > 子育てや教育に関する意識



子育てや教育に関する意識の6つの項目について、それぞれの意識を聞いたところ、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』が<(カ) 青少年の社会的・経済的自立を支援する体制の整備が進められている>(32.3%)で3割を超えている。(図表5 - 1)

【地域別】

地域別にみると、<(イ) 豊かな心、確かな学力、健やかな体を持った明るく元気な子どもたちが育っている>は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が“香取地域”(57.6%)で約6割と他の地域に比べ多くなっている。<(ウ) 家庭の教育を支える環境や地域で子どもを育てる体制の向上が図られ、学校を中心とした地域づくりが進められている>は、『そう思う』が“安房地域”(51.4%)で5割を超えている。<(エ) 子どもたちの学びを支える教育環境づくりが進められている>では、『そう思う』が“香取地域”(45.5%)が4割台半ばと他の地域に比べ多くなっている。<(オ) 障害のある子どもたちに対応した特別支援教育が進められている>では、『そう思う』が“安房地域”(37.1%)で約4割となっている。<(カ) 青少年の社会的・経済的自立を支援する体制の整備が進められている>は、『そう思わない』が“夷隅地域”(50.0%)で5割と他の地域に比べ多くなっている。(図表5 - 2)

【性・年代別】

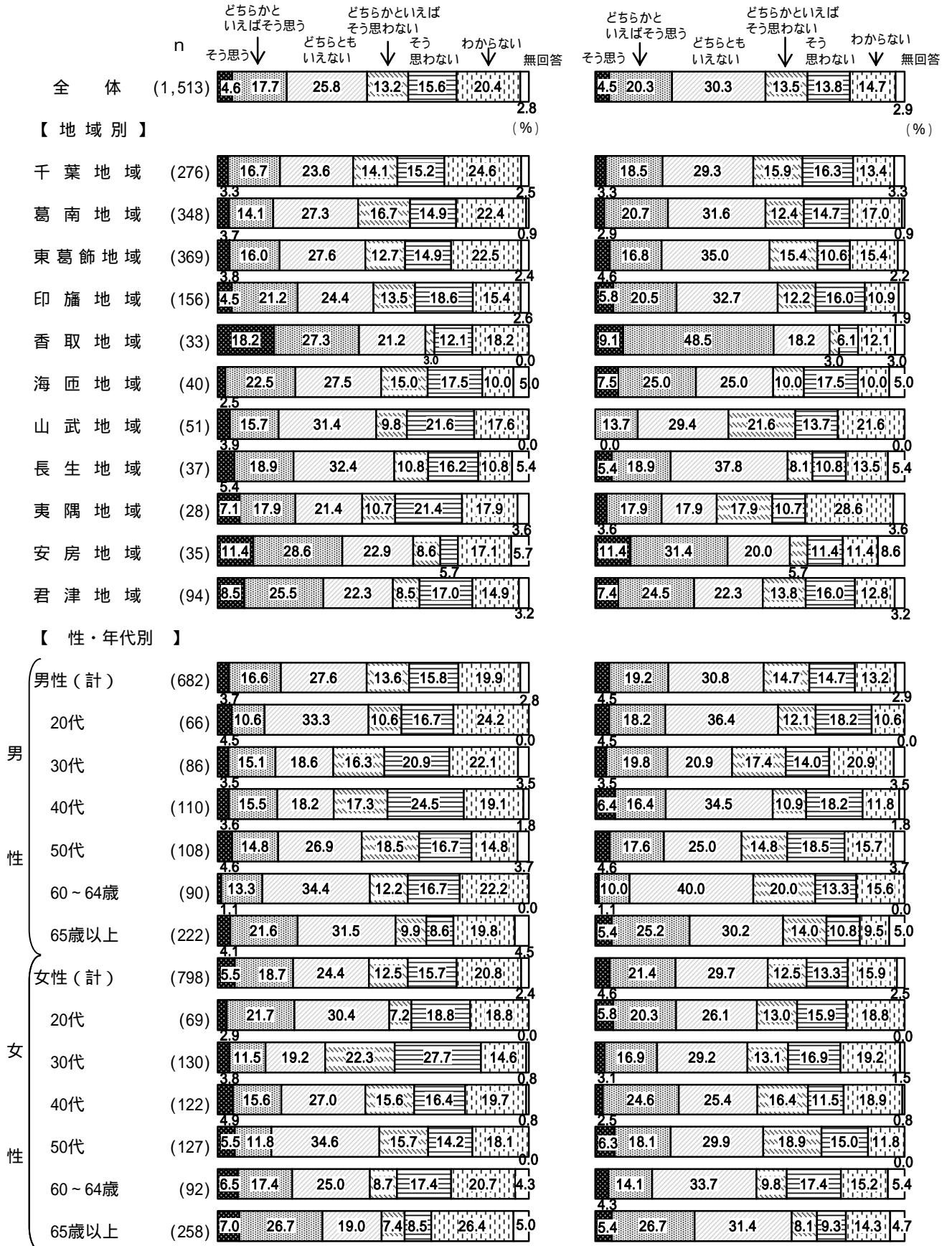
性・年代別にみると、＜（ア）保育サービスの充実が図られ、子育てを支える体制づくりが進められている＞では、『そう思わない』が女性30代（50.0％）で5割、男性40代（41.8％）で4割を超えて他の年代に比べ多くなっている。＜（オ）障害のある子どもたちに対応した特別支援教育が進められている＞では、『そう思う』が女性40代（32.8％）で3割を超え、他の年代に比べ多くなっている。＜（カ）青少年の社会的・経済的自立を支援する体制の整備が進められている＞では、『そう思わない』が女性50代（43.3％）、男性60～64歳（42.2％）、男性30代（41.9％）で4割以上となっている。

（図表5 - 2）

<図表5-2> 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別

(ア) 保育サービスの充実が図られ、
子育てを支える体制づくりが
進められている

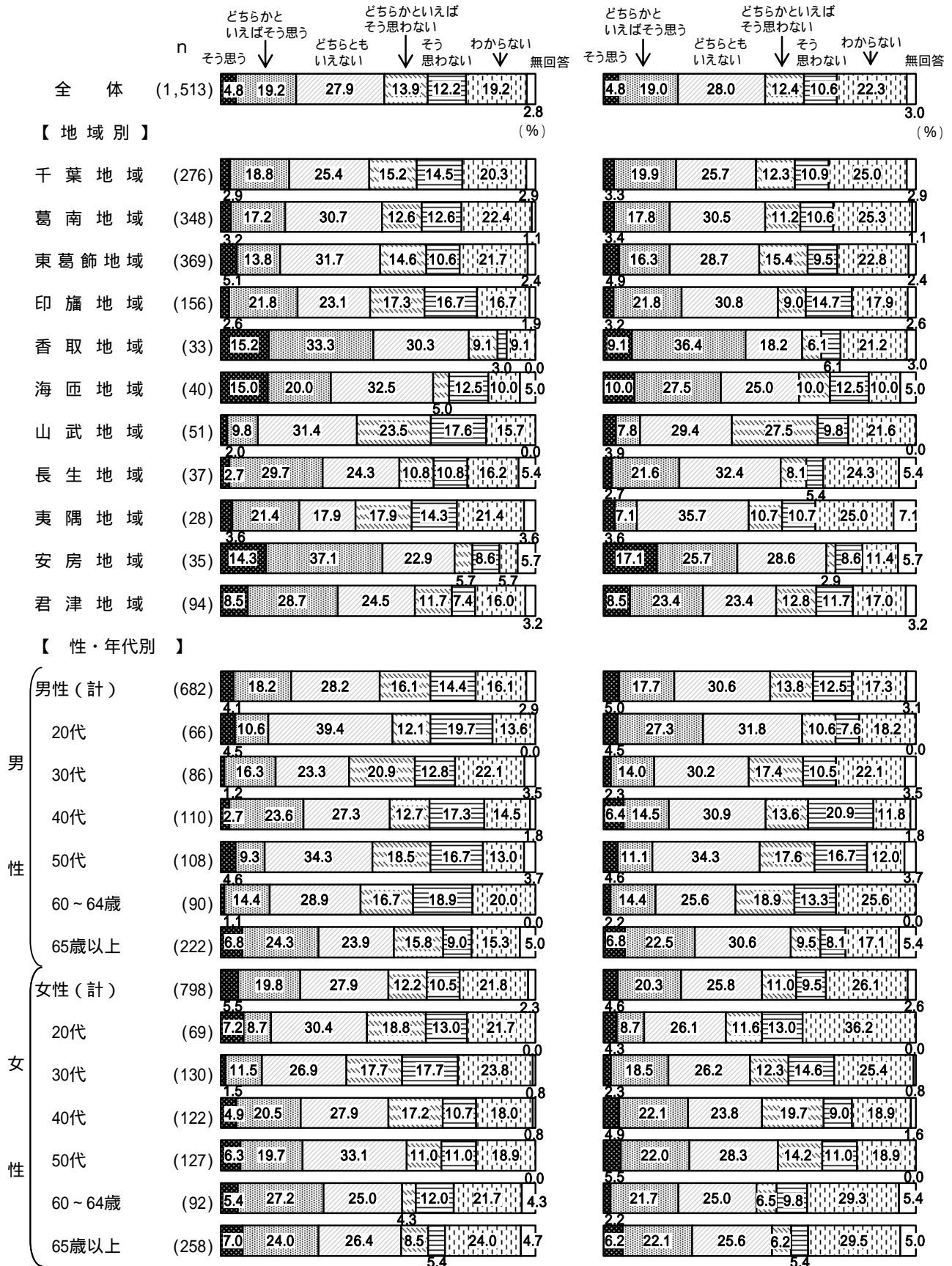
(イ) 豊かな心、確かな学力、健やかな体を持つ
明るく元気な子供たちが育っ
ている



<図表5 - 2> 子育てや教育に関する意識 / 地域別、性・年代別

(ウ) 子どもを育てる体制の向上が図られ、学校を中心とした地域づくりが進められている

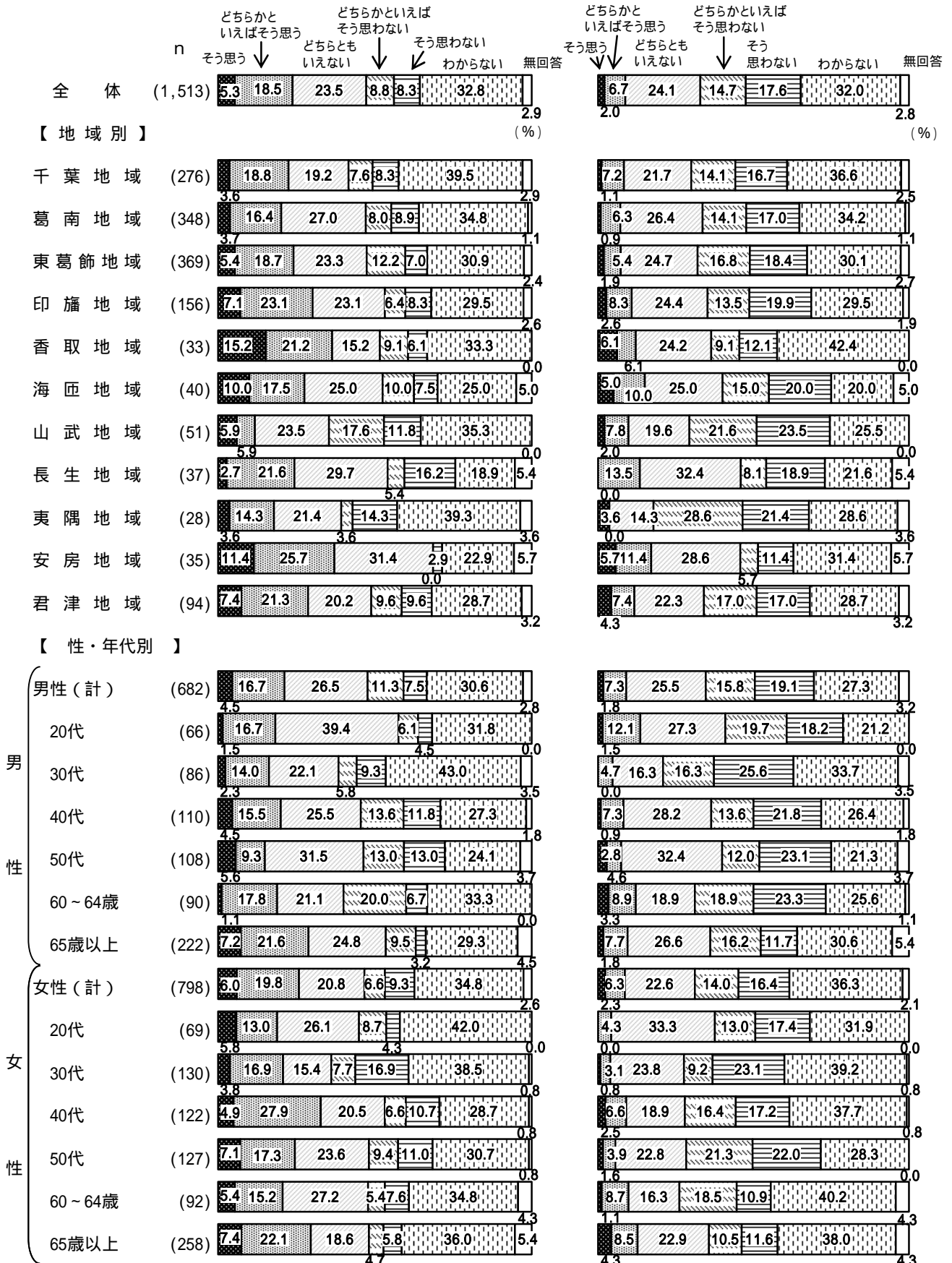
(エ) 子どもたちの学びを支える教育環境づくりが進められている



<図表5-2>子育てや教育に関する意識/地域別、性・年代別

(オ)障害のある子どもたちに対応した特別支援教育が進められている

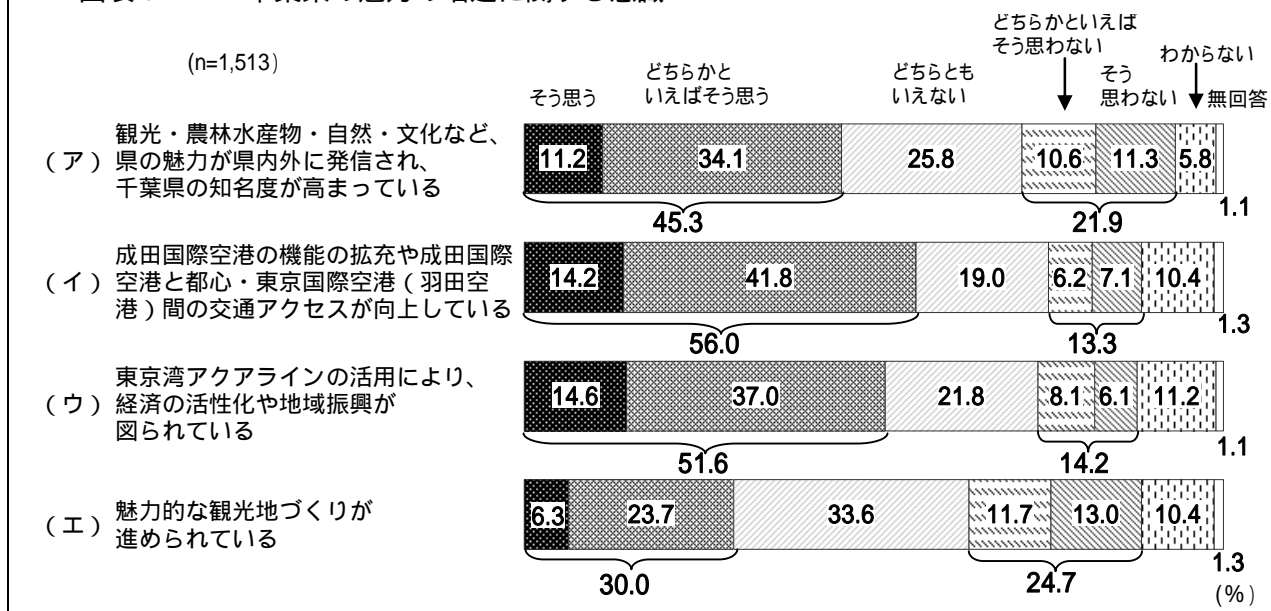
(カ)青少年の社会的・経済的自立を支援する体制の整備が進められている



(6) 千葉県の魅力の増進に関する意識

問6 あなたは、千葉県の魅力の増進に関する次の項目についてどう思いますか。
(はそれぞれ1つずつ)

<図表6-1> 千葉県の魅力の増進に関する意識



千葉県の魅力の増進に関する4つの項目について、それぞれの意識を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が、<(イ)成田国際空港の機能の拡充や成田国際空港と都心・東京国際空港(羽田空港)間の交通アクセスが向上している>(56.0%)で5割台半ばと最も多く、次いで<(ウ)東京湾アクアラインの活用により、経済の活性化や地域振興が図られている>(51.6%)、<(ア)観光・農林水産物・自然・文化など、県の魅力が県内外に発信され、千葉県の知名度が高まっている>(45.3%)となっている。(図表6-1)

【地域別】

地域別にみると、<(イ)成田国際空港の機能の拡充や成田国際空港と都心・東京国際空港(羽田空港)間の交通アクセスが向上している>は、『そう思う』が“山武地域”、“君津地域”(共に62.7%)で6割を超えている。<(ウ)東京湾アクアラインの活用により、経済の活性化や地域振興が図られている>では、『そう思う』が“君津地域”(71.2%)で7割を超え、次いで“安房地域”(68.5%)となっている。(図表6-2)

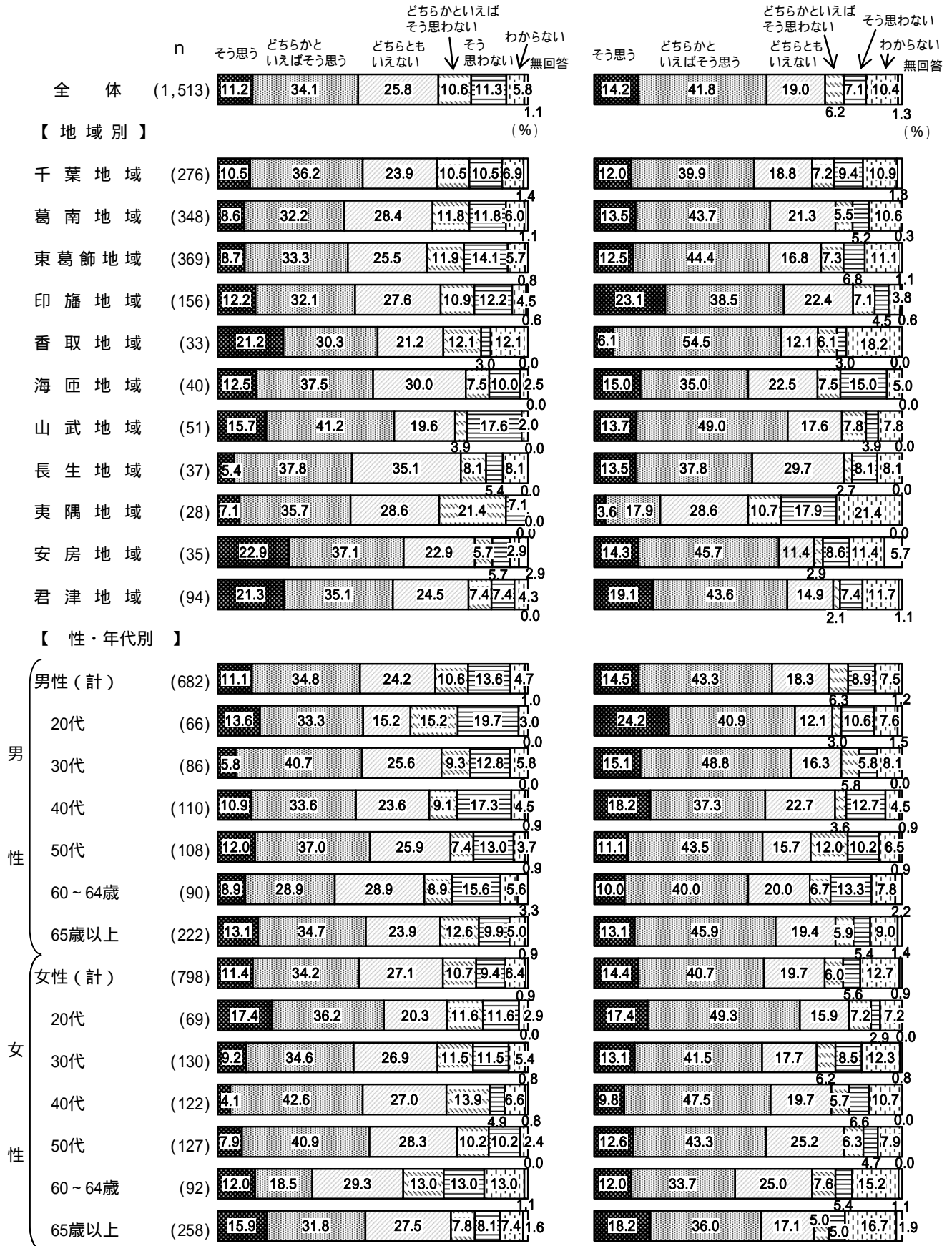
【性・年代別】

性・年代別にみると、<(ア)観光・農林水産物・自然・文化など、県の魅力が県内外に発信され、千葉県の知名度が高まっている>では、『そう思う』が女性20代(53.6%)で5割台半ばと他の年代に比べ多くなっている。<(エ)魅力的な観光地づくりが進められている>では『そう思う』が女性20代(40.5%)で4割、一方「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』が男性60~64歳(34.5%)で3割台半ばと多くなっている。(図表6-2)

<図表6-2> 千葉県の魅力の増進に関する意識 / 地域別、性・年代別

(ア) 県の魅力が県内外に発信され、知名度が高まっている

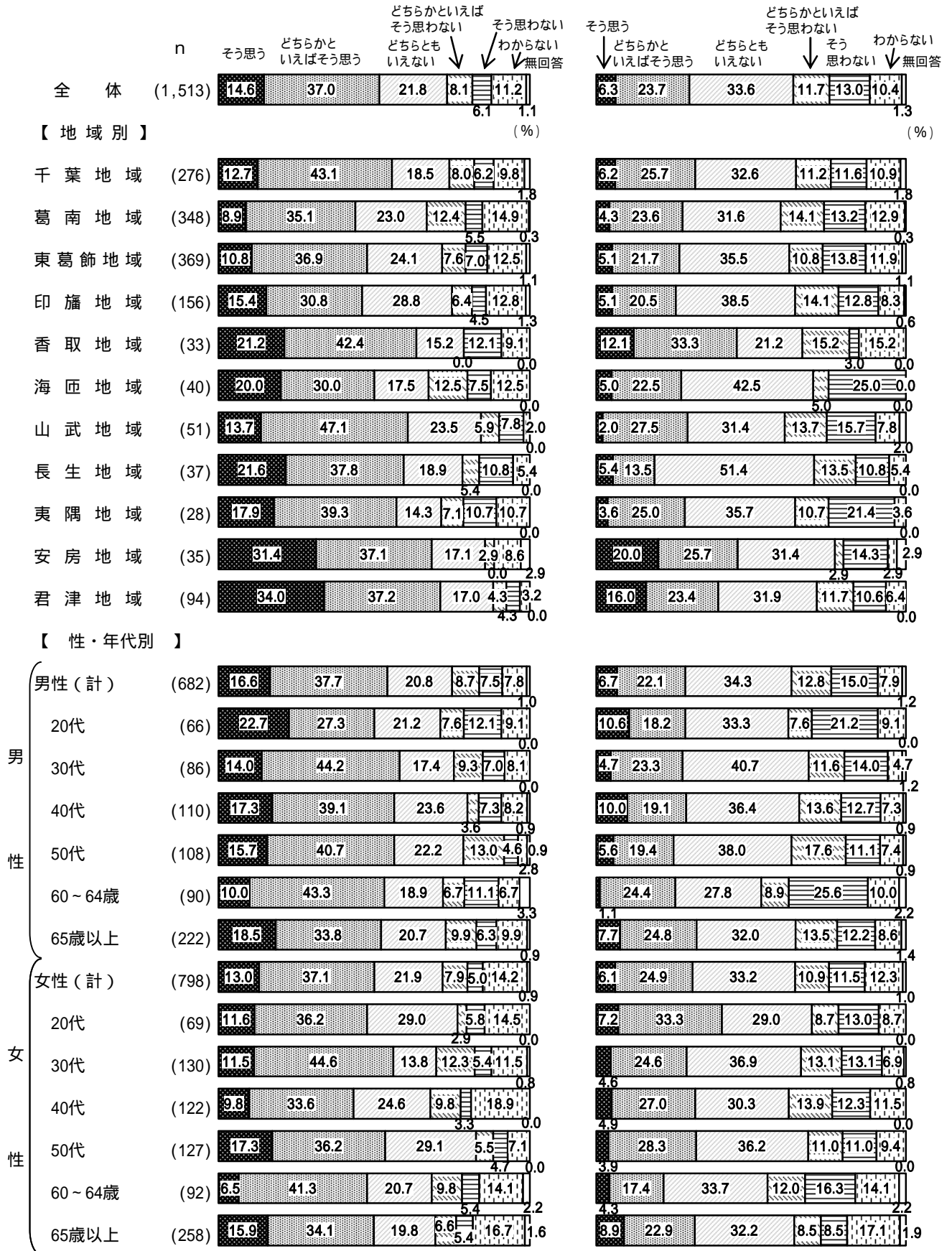
(イ) 成田国際空港の機能拡充や交通アクセスの向上が進められている



<図表6-2> 千葉県の魅力の増進に関する意識 / 地域別、性・年代別

(ウ) 東京湾アクアラインの有効活用
が進められている

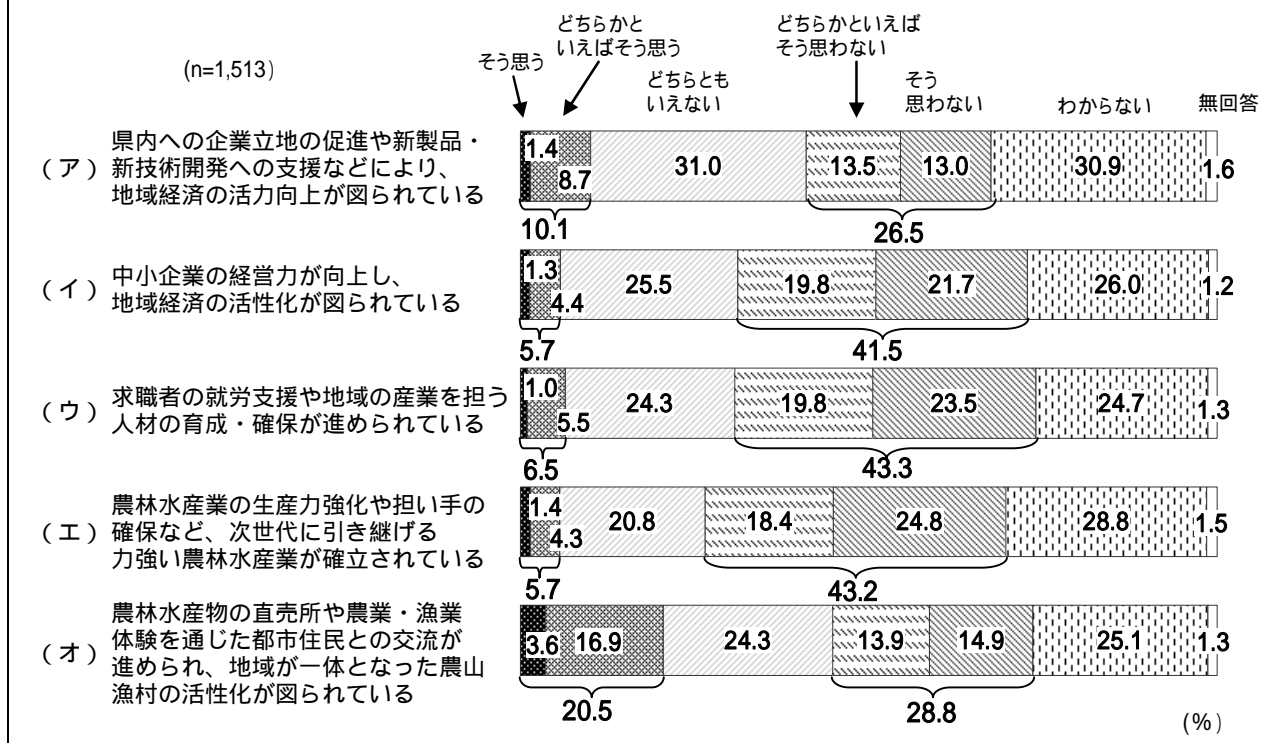
(エ) 魅力的な観光地づくりが
進められている



(7) 商工業や農林水産業の活性化に関する意識

問7 あなたは、商工業や農林水産業の活性化に関する次の項目についてどう思いますか。
(はそれぞれ1つずつ)

< 図表7 - 1 > 商工業や農林水産業の活性化に関する意識



商工業や農林水産業に関する5つの項目について、それぞれの意識を聞いたところ、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』で多かったのは、<(ウ) 求職者の就労支援や地域の産業を担う人材の育成・確保が進められている>(43.3%)、<(エ) 農林水産業の生産力強化や担い手の確保などが図られ、次世代に引き継げる力強い農林水産業が確立している>(43.2%)が4割台半ばとなっており、以下、<(イ) 中小企業の経営力が向上し、地域経済の活性化が図られている>(41.5%)となっている。(図表7 - 1)

【地域別】

地域別にみると、<(ア) 県内への企業立地の促進や新製品・新技術開発への支援などにより、地域経済の活力向上が図られている>では、『そう思わない』が“山武地域”(43.2%)“夷隅地域”“安房地域”(共に42.9%)で他の地域に比べ多くなっている。<(イ) 中小企業の経営力が向上し、地域経済の活性化が図られている>は、『そう思わない』が“海匝地域”(67.5%)で約7割となっている。<(オ) 農林水産物の直売所や農業・漁業体験などを通じた都市住民との交流が進められ、地域が一体となった農山漁村の活性化が図られている>では、『そう思わない』が“海匝地域”(40.0%)で4割と他の地域に比べ多くなっている。(図表7 - 2)

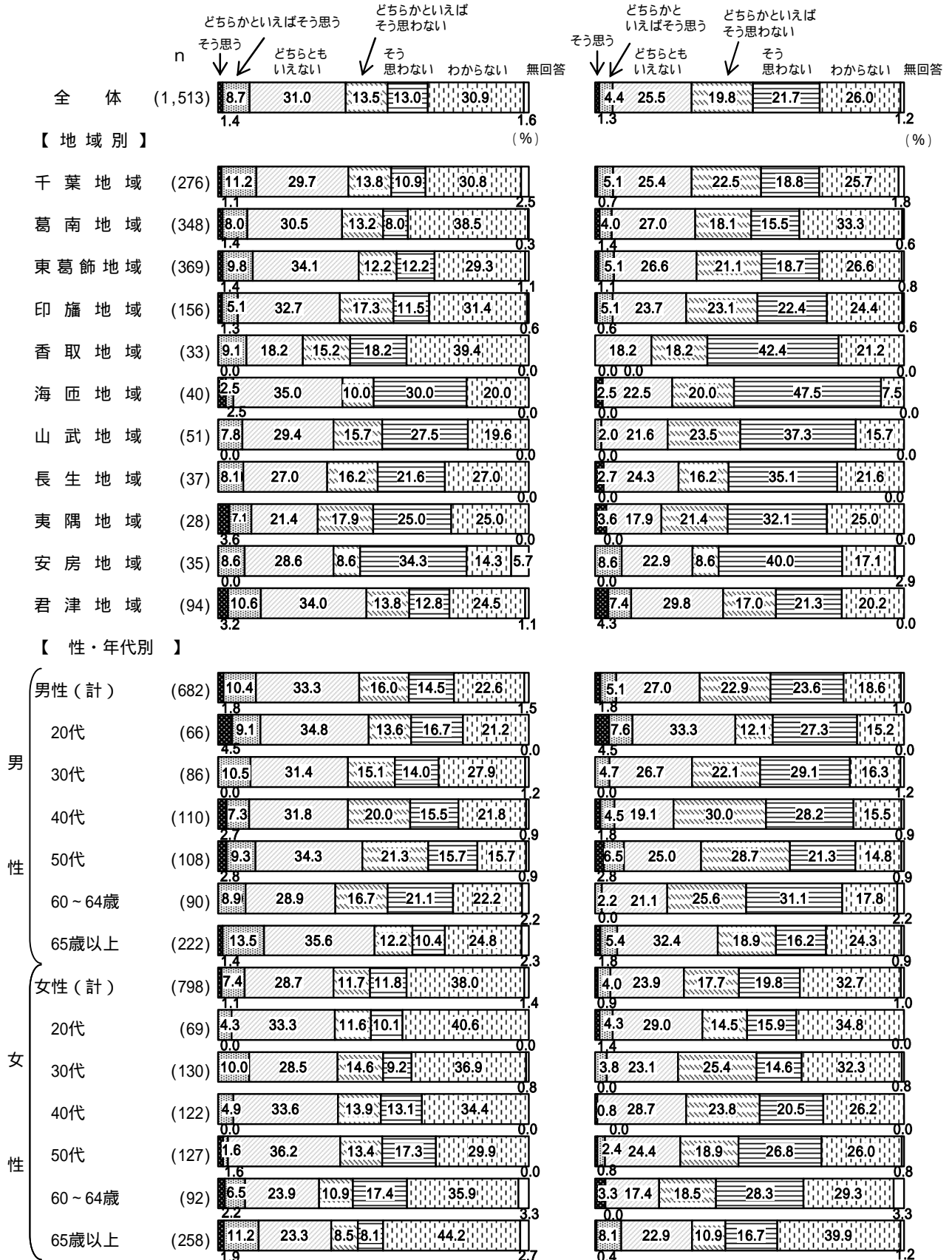
【性・年代別】

性年代別にみると、＜（イ）中小企業の経営力が向上し、地域経済の活性化が図られている＞は、『そう思わない』が男性40代（58.2%）で約6割となっている。＜（ウ）求職者の就労支援や地域の産業を担う人材の育成・確保が進められている＞では、『そう思わない』が男性60～64歳（55.5%）で5割台半ばとなっている。＜（エ）農林水産業の生産力強化や担い手の確保などが図られ、次世代に引き継げる力強い農林水産業が確立している＞では、『そう思わない』が男性60～64歳（54.4%）で5割台半ば、男性30代（51.1%）、女性60～64歳（52.2%）、50代（51.1%）で5割を超えている。

（図表7 - 2）

<図表7-2> 商工業や農林水産業の活性化に関する意識/地域別、性・年代別

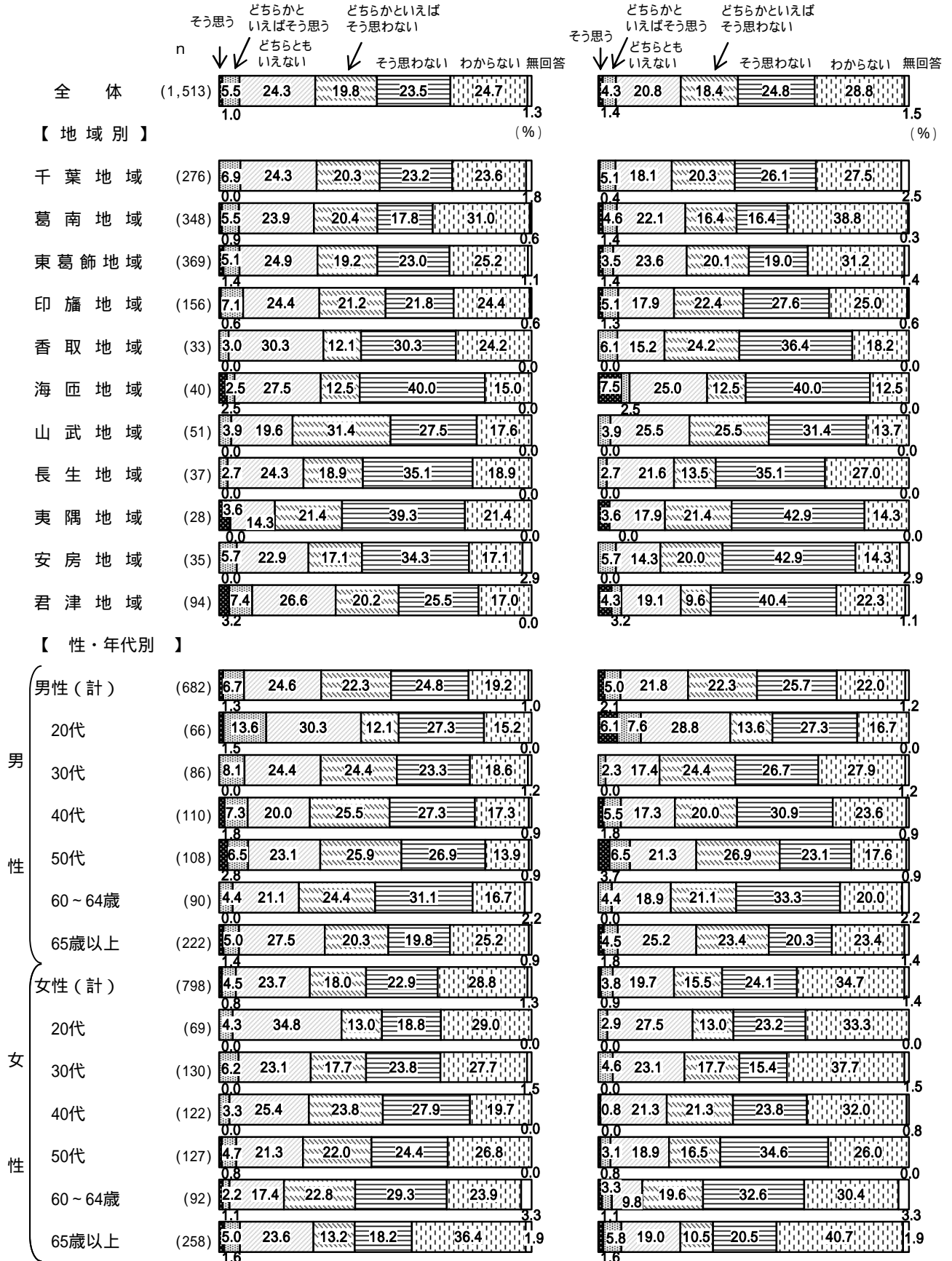
(ア) 県内への企業立地の促進や新製(イ) 中小企業の経営力が向上し、
品・新技術開発への支援などによる地域経済の活性化が図られている



<図表7-2> 商工業や農林水産業の活性化に関する意識/地域別、性・年代別

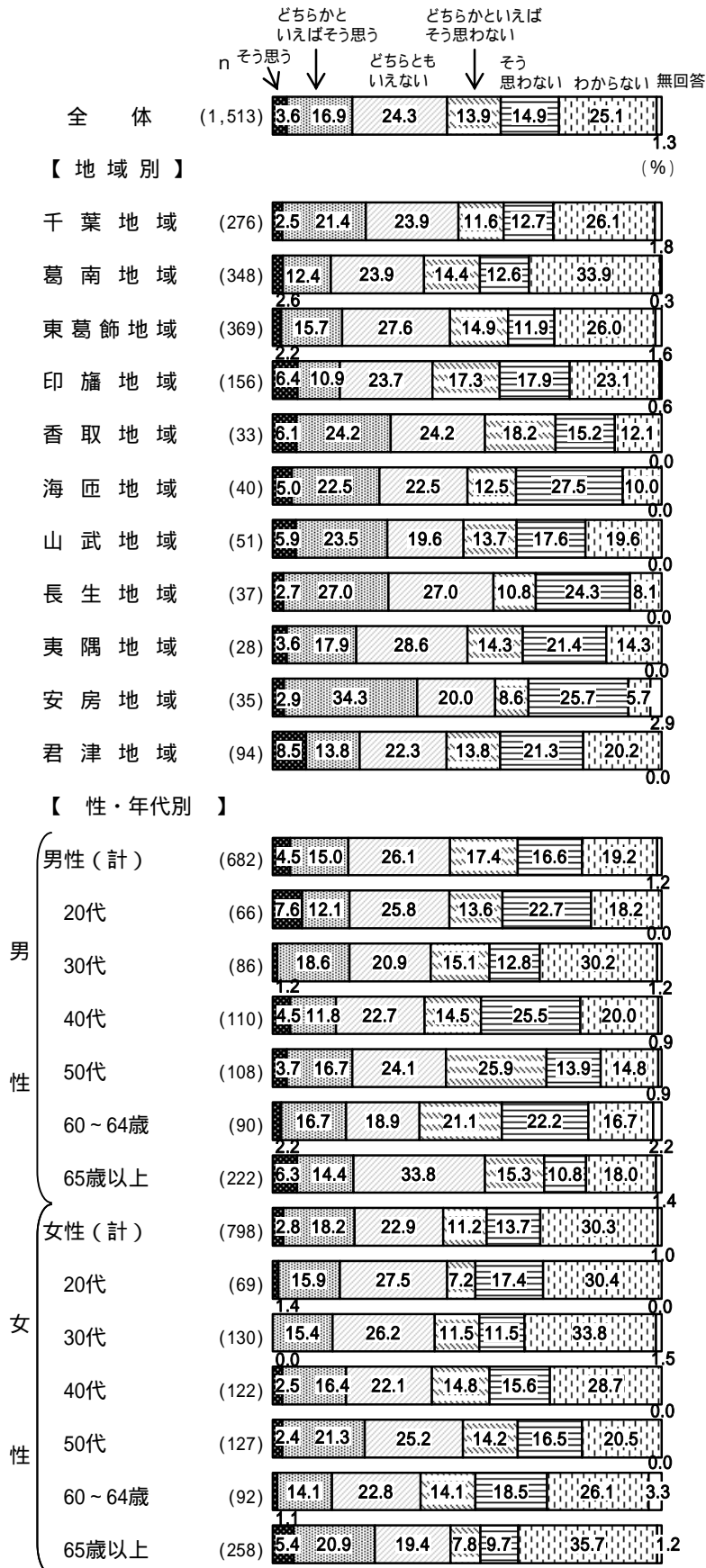
(ウ) 求職者の就労支援や地域の産業を担う人材の育成・確保が進められている

(エ) 農林水産業の生産力強化、担い手の確保など、次世代に引き継げる力強い農林水産業の確立



<図表7-2> 商工業や農林水産業の活性化に関する意識 / 地域別、性・年代別

(オ)地域が一体となった農山漁村の
活性化が図られている

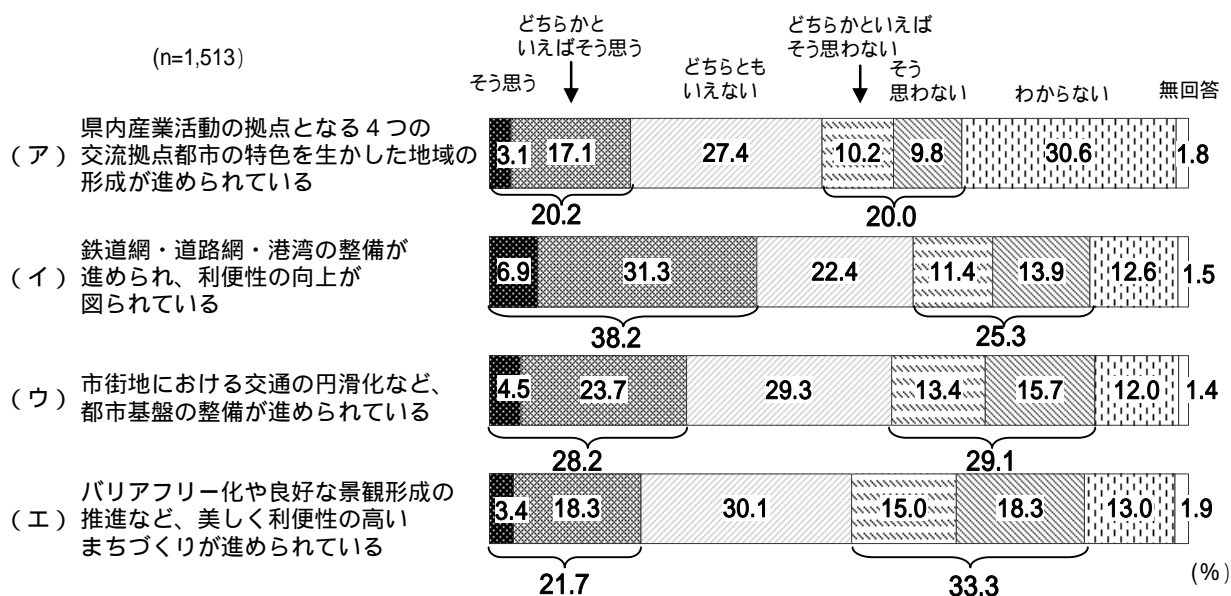


(8) 県の基盤づくりに関する意識

問8 あなたは、県の基盤づくりに関する次の項目についてどう思いますか。

(はそれぞれ1つずつ)

<図表8-1> 県の基盤づくりに関する意識



県の基盤づくりに関する4つの項目について、それぞれの意識を聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』では<(イ) 鉄道網・道路網・港湾の整備が進められ、利便性の向上が図られている>(38.2%)が約4割となっている。一方「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない』では、<(エ) バリアフリー化や良好な景観形成の推進など、美しく利便性の高いまちづくりがすすめられている>(33.3%)が3割台半ばとなっている。(図表8-1)

【地域別】

地域別にみると、<(ア) 県内産業活動の拠点となる4つの交流拠点都市の特色を生かした地域の形成が進められている>では『そう思う』が“長生地域”(32.4%)と“山武地域”(31.3%)で3割を超え、他の地域に比べ多くなっている。<(イ) 鉄道網・道路網・港湾の整備が進められ、利便性の向上が図られている>は、『そう思わない』が“海匝地域”(50.0%)で5割となっている。<(ウ) 市街地における交通の円滑化など、都市基盤の整備が進められている>(41.1%)と<(エ) バリアフリー化や良好な景観形成の推進など、美しく利便性の高いまちづくりが進められている>(49.1%)では、『そう思わない』が“山武地域”で多くなっている。(図表8-2)

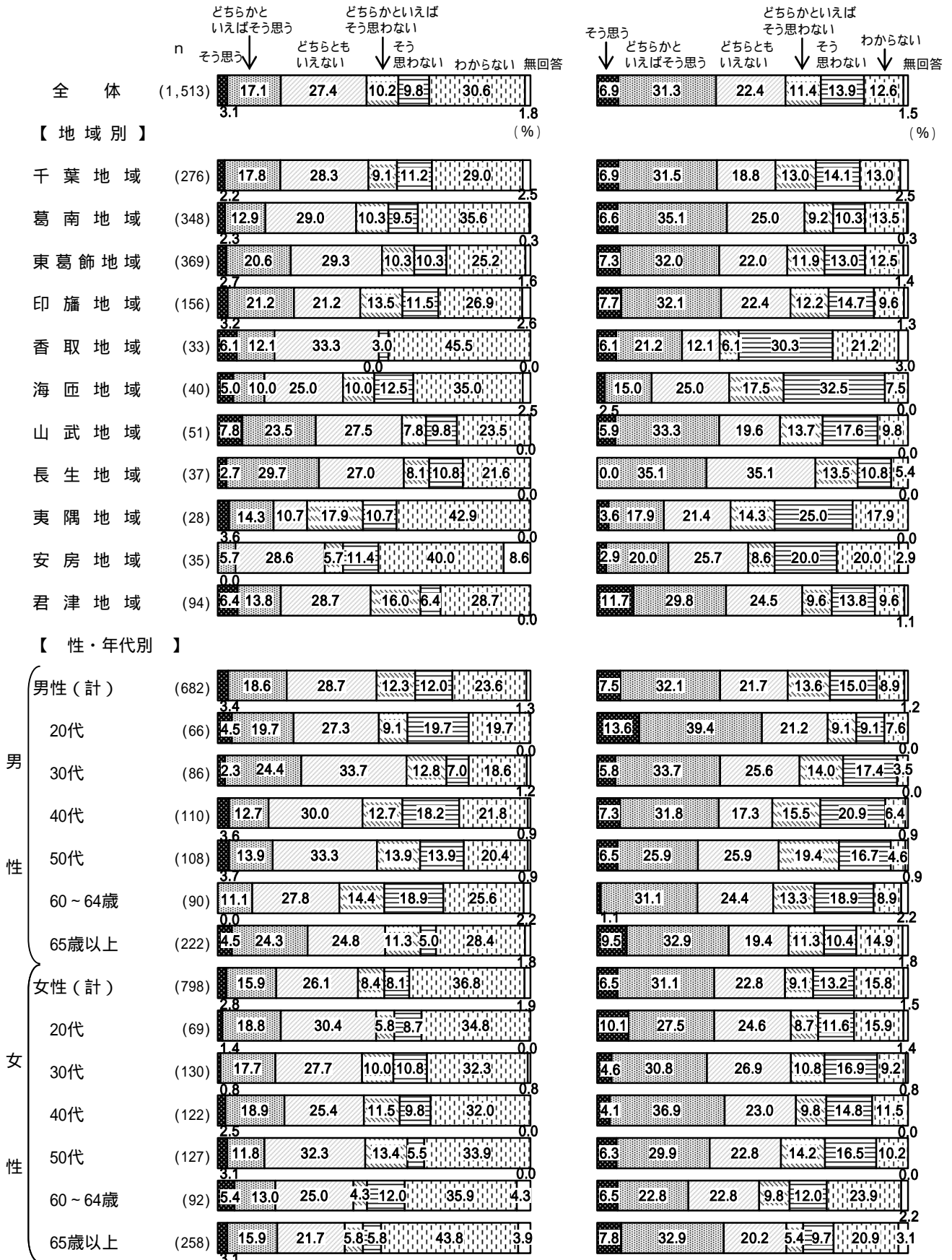
【性・年代別】

性・年代別にみると、<(イ) 鉄道網・道路網・港湾の整備が進められ、利便性の向上が図られている>では、『そう思う』が男性20代(53.0%)で5割台半ばとなっている。<(エ) バリアフリー化や良好な景観形成の推進など、美しく利便性の高いまちづくりが進められている>では、『そう思わない』が男性30代(40.7%)、男性50代(41.7%)、男性60~64歳(41.1%)で4割以上となっている。

(図表8-2)

<図表8-2> 県の基盤づくりに関する意識/地域別、性・年代別

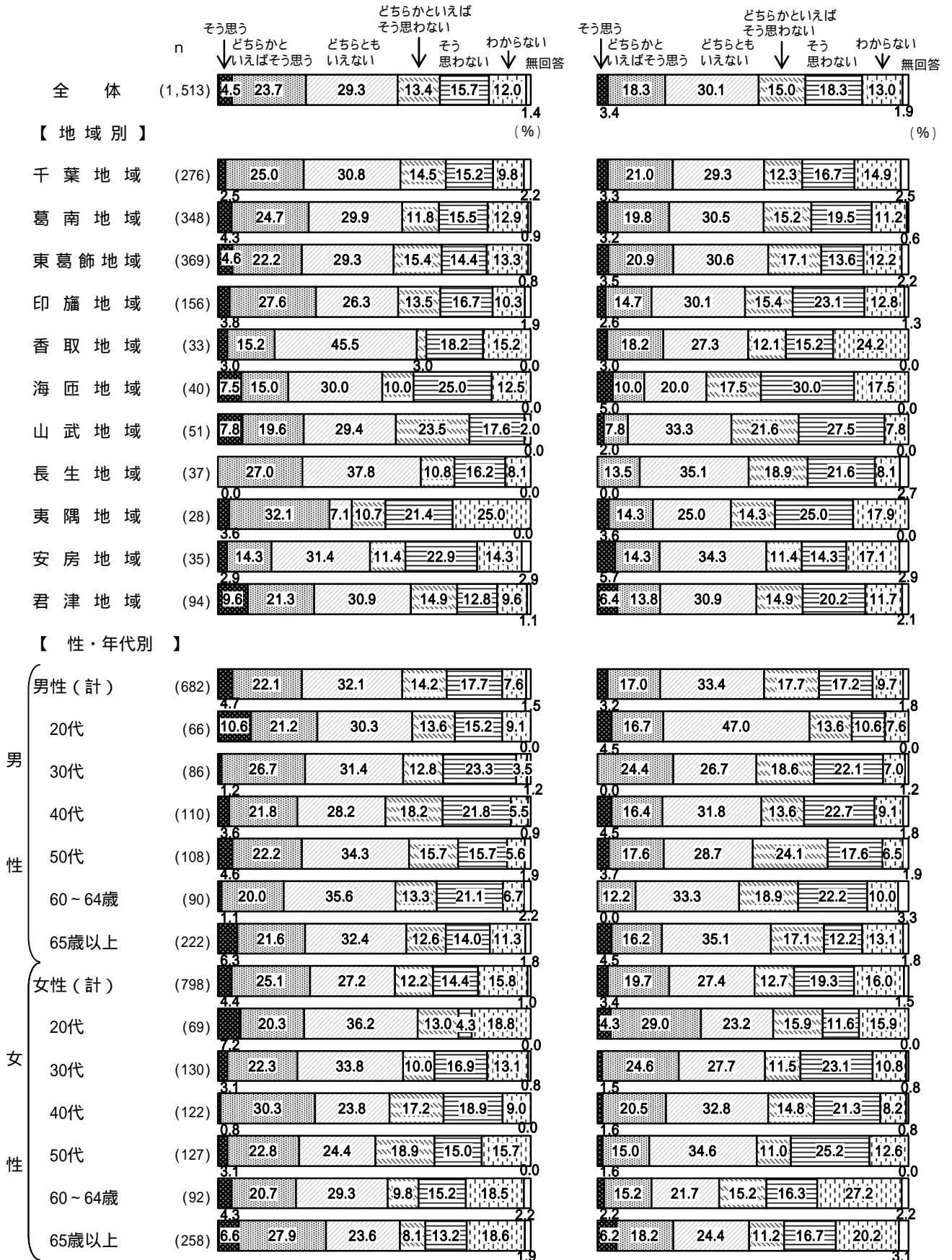
(ア) 交流拠点都市の特色を生かした地域の形成が進められている
 (イ) 鉄道網・道路網・港湾の整備による利便性の向上が図られている



<図表8-2> 県の基盤づくりに関する意識 / 地域別、性・年代別

(ウ) 市街地における交通の円滑化
 など、都市基盤の整備が進め
 られている

(エ) バリアフリー化や良好な景観形成
 の推進など、美しく利便性の高い
 まちづくりが進められている



このほかに、県が今後力を入れていくべき分野や取り組みについて、ご意見があればご自由にお書きください。

ご意見を自由に記述していただいたところ、374人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「県政全般に関する意識」についての自由回答

道路(幹線)整備。例えば歩道と車道の区別と道幅を広げるなどの安全な交通対策をお願いします。また、朝・夕の渋滞する交差点の信号の見直しもです。高齢・障害者の住みやすい街づくりを求めます。(女性・50代・葛南地域)

弱者が安心して暮らせる県政(福祉、医療、教育の充実。公的機関の充実)。若い人の就職アップ(正規雇用、正規で！！ 公的機関においても臨採が、非正規が多すぎます)安定雇用、経済の活性化。(女性・60～64歳・葛南地域)

障害者等、社会的弱者に対する自立支援の強化、教育のみでなく就業支援。会社経営者への意識改革等、使用者側への指導強化。身障者はやり切れなさに泣いている。千葉県だけでもしっかりやって、助けてほしい。(男性・65歳以上・東葛飾地域)

特養ホーム等の増設を近隣に望む。本当に困った人々を、順番待ちでなく(また不公平のない)、また高齢者が3ヵ月で次々と出されるのでなく、安心して看護者や入居者が円滑に過ごせるよう、介護保険等の活用を更に考えてほしいです。(女性・65歳以上・印旛地域)

6年前から住んでみて、こんなに空気も食べ物もおいしく、人々も優しいのに、他の地域へのアピールが足りないと思う。高齢化が進み、どの市も予算がないとの理由で次世代への投資がなされておらず、何も言えない子供達へしわ寄せがいつていると思う。もっと子育て世代がイキイキと暮らせるよう、学校・公園・学童保育・教育方針の改革などに目を向けてほしい。(女性・40代・葛南地域)

子育てしやすい(産婦人科の減少・小児科の減少の対応)環境や歩道の確保、自転車、ベビーカー、車椅子でも安心して通れる歩道を確立して、安心して子供も高齢者も暮らせるようにしてほしい。(女性・50代・葛南地域)

子供(小学生)がいる主婦の立場からですが、子供達がみんなで集まって交流したり遊んだりする施設が少ししかないような気がします。介護施設等は充実しているように感じますが、これからの未来の事を考えると、子供達が自由に学べて、のびのび遊べる場所を作り、その子供達が大人になった時に地域に対して貢献出来るような流れを作っていった方が、もっと発展的だと思います。(女性・40代・印旛地域)

女性にとって働きやすい環境を整備、条例案を考えてほしい。女性の社会進出は進んでいても、働き続ける困難さは解消されているとは言い難い(育児環境、介護事情等)。千葉だけでなく日本全国共通の課題であると思うが、千葉が先駆けて、女性が生き生きと働けるモデルになれば素晴らしいと思う。(女性・20代・東葛飾地域)

子供はもちろん、若者を大人もお年寄りも、住みやすい千葉県を目指して欲しい。全国から、千葉に住みたいと思うような環境を整えてほしい。(女性・40代・葛南地域)

千葉県は海と多くの小高い丘のある地形に恵まれている。この地域特色を生かした、観光と生涯スポーツの拠点として、日本国内だけでなく、世界の人々から評価される観光立県を目指す構想を実現する計画を立て、実行する。高速道及び高速鉄道の整備は必要条件である。

(男性・65歳以上・東葛飾地域)

千葉県は観光スポット(山あり、海あり)が沢山ありますが、上手にピーアールができてないと思います。もったいないです。千葉県民も知らないすてきな所があると思うので、もっとピーアールしてほしいです。(女性・40代・東葛飾地域)

中小企業を中心とした新技術の開発にもっと支援をすべき。農村漁村の活性化にもっと支援を。

(男性・65歳以上・印旛地域)

福島原発事故による、放射能の情報が多く出て、個人で判断できるようにしてほしい。特に海岸汚染による魚への影響、農産物への影響等。(男性・60~64歳・葛南地域)

子どもが気づかないのかもしれないが、そもそも総合計画「輝け！ちば元気プラン」を全く知らない。その中でのアンケートをされてもわからない。もっと広報活動を強化して、県民に対し、県政をアピールしていく必要があるのでは。(男性・60~64歳・東葛飾地域)

千葉県は温暖な気候という有利な点があるので、交通アクセス、渋滞の解消など、住みやすさを重視した政策に力を入れてほしいと思っています。アクティブに活動する若年層を人口減の社会の中でいかに取り込めるか考えて頂ければと思います。(男性・30代)

医療、福祉に携わる者への地位、保全、向上。弱い者の立場が息づけば、地域しいては県にも明るい材料になるのでは。(女性・50代・山武地域)

軽犯罪等の徹底した取り締まりによる法律認知度のupと犯罪に対する罪の意識度を深めること。高齢化に伴う交通機関の強化(路線バス、電車の充実)。税収の確保。(男性・40代・東葛飾地域)

駅周辺に大型スーパーがある都市に銀行(支店、出張所)がなく、老人も電車に乗って銀行まで行く街もある。道路の状態が悪く、雨水でうもれてしまい、車で通るのに事故を起こしそうな道もある。街に住んでいる住民の視線で考えていただけるとうれしいと思います。

(女性・50代・印旛地域)